

## 令和元年度

## 香南市産業振興計画の取り組み状況について

・ 令和元年度 各推進分野別部会 『数値目標及び実績』一覧	:			1	ページ
・ 農業分野	:	2	～	7	ページ
・ 林業分野	:	8	～	10	ページ
・ 水産業分野	:	11	～	13	ページ
・ 商業分野	:	14	～	15	ページ
・ 工業分野	:	16	～	18	ページ
・ 観光分野	:	19	～	23	ページ
・ サイクリング専門委員会	:	24	～	26	ページ
・ 住宅分野	:	27	～	29	ページ

◆ 令和元年度 各推進分野別部会『数値目標及び実績』一覧

【農業分野】									
数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	目標値	達成 (達成度合)	備考
新規就農者数 (人)	目標値	10	10	12	12	15	15人/年		【根拠数値】 高知県中央東農業振興センター調べ (6月2日～翌年6月1日の数)
	実績値	17	14	7	9				
	達成 (評価)	A	A	C	B				

【林業分野】									
数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	目標値	達成 (達成度合)	備考
林業境界明確化面積 (ha)	目標値	100	100	250	420	600	800ha以上(累積)		・目標値、実績値は累積面積。 ・実績値の( )の数字は、その年度に実施した面積。
	実績値 (年度実施 面積)	97.4 (97.40)	97.4 (0)	97.4 (0)	120.11 (22.71)				
	達成 (評価)	B	C	C	C				

【水産業分野】									
数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	目標値	達成 (達成度合)	備考
沿岸漁業総生産量 (t)	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200t以上維持 (年)		【根拠数値】 ・H27～29 三港(手結・赤岡・吉川) ・H30～31 三港及び民間事業者1社の生産量 ※H30 三港→1,057t
	実績値	1,086	693	839	1,119				
	達成 (評価)	B	C	B	B				

【商工業分野】									
数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	目標値	達成 (達成度合)	備考
製造品出荷額 (億円)	目標値	500以上	500以上	500以上	500以上	500以上	500億円以上維持 (年)		【根拠数値】 目標値である「製造品出荷額」は毎年2月末に公表されるため、実績値は、調査の対象機関の関係で、前年の製造品出荷額を記載。
	実績値	419	396	371	397				
	達成 (評価)	B	B	B	B				

【観光分野】									
数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	目標値	達成 (達成度合)	備考
観光施設入込客数 (万人/暦年)	目標値	100以上	100以上	120以上	120以上	120以上	120万人以上維持 (年)		【根拠数値】 ・実績値は暦年(1月-12月) ・対象施設11か所 ①のいち動物公園・・・166,504 ②月見山こどもの森・・・25,647 ③ヤンシーパーク・・・339,679 ④絵金蔵・・・10,265 ⑤香南市サイクリングターミナル (宿泊者以外)・・・2,321 ⑥天然色市場・・・8,139 ⑦やすらぎ市・・・209,067 ⑧あぐりのさと・・・20,998 ⑨黒瀬温泉・・・100,418 ⑩アクトランド・・・109,436 ⑪土佐カントリークラブ・・・69,704
	実績値	100.3	104.7	107.7	106.2				
	達成 (評価)	A	A	B	B				

【サイクリング分野】									
数値目標	年度	H27	H28	H29	H30	R元	目標値	達成 (達成度合)	備考
レンタサイクル 利用者数 (人/年)	目標値	-	1,000	1,800	2,100	2,300	2,300人(年)		【根拠数値】 ・対象施設3か所の貸出数 ①香南市サイクリングターミナル ②のいち駅 ③創造広場「アクトランド」
	実績値	-	1,714	2,060	2,156				
	達成 (評価)	-	A	A	A				

	各年度末目標値 (新規就農者数)	実績値 (9月末実績)	評価	備考 (新規就農者について)
R元年度 数値目標	15人	11人	-	■ Uターン者：4人 Iターン：6人 ■ 学卒者：1人 ■ 品目：ニラ シシトウ みかん シイタケ 酪農
H30年度実績	12人	9人	B	■ Uターン者：5人 Iターン：4人 ■ 品目：生姜 ピーマン ニラ (ハウス) みかん (ハウス) トマト (ハウス)
H29年度実績	12人	7人	C	■ Uターン者：4人 Iターン者：3人 ■ 品目：すいか みかん ピーマン ニラ 人参 ブロッコリー 生姜 オクラ スナップエンドウ

**【R元4月～9月の取組について】 (P・D・C)**

- ・6月に東京都大阪の高知暮らしフェアに参加し香南市への移住促進をすすめ、その中で就農希望者と話し、香南市への農業PRをすすめてきた。その他にも8月にはイオン高知で高知県内の市町村と合同で就農相談会に参加してきた。就農相談は

**【R元10月以降の取組について】 (A)**

- ・11月に大阪での新農業人フェア、東京、大阪での高知暮らしフェア、1月に東京での新農業人フェアに参加し、Iターン就農希望者を香南市に呼び込む

※ 目標値である「新規就農者数」は、毎年10月末から11月にかけて高知県中央東農業振興センターより公表される「前年度の新規就農者数」。

よって、公表された前年度実績数が実績値となるため、H30年度の実績は9人で確定。(注1)はH29年度の新規就農者数実績、(注2)はH28年度の実績を記載。

戦略の柱	事業名	具体的な取組 【D】	総括 【C】	今後の取組 (対策、改善について) 【A】	
	R元年度の目標値 【P】		原因及び課題 (分析)	R元年度末 (下半期) に向けての取組内容を記載	R2年度 (次年度) に向けての取組内容を記載
基盤整備・防災	<b>◆農業生産基盤の充実 (県防災減災事業)</b>				
	1. 防災施設対策整備 ○黒谷ため池 (改修工事) 1箇所	【当初】 本改修工事の完成に向け県との実施調整を行いながら、本年度内の工事完了を目指す。  【9月末までの取り組み状況】 現在施工中であり令和2年2月の竣工に向けて県と地元調整を図りながら完成を目指す	台風時期を含む施工期間となるため近年の降雨量や施工期間中の二次災害に注意が必要である。	令和2年2月の竣工に向けて県と地元調整を図りながら完成を目指す	R元年度終了
	2-1. 排水機場施設整備 ○吉原排水機場 (ポンプ及び電気工事) 1箇所	【当初】 県と実施調整を密に行いながら早期完了を目指す。  【9月末までの取り組み状況】 ポンプ施設更新を実施しており令和2年3月の竣工に向けて県と地元調整を図りながら完成を目指す	台風時期は未着手であるが施工期間の制限や近年の降雨量による施工期間中の二次災害に注意が必要である。	令和2年3月の竣工に向けて県と地元調整を図りながら完成を目指す	R元年度終了
	2-2. 排水機場施設整備 ○千切排水機場 1箇所	【当初】 県と実施調整を密に行いながら早期完了を目指す。  【9月末までの取り組み状況】 本年度予定であるポンプ施設は契約済。令和2年3月の竣工に向けて県と地元調整を図りながら完成を目指す	台風時期は未着手であるが施工期間の制限や近年の降雨量による施工期間中の二次災害に注意が必要である。	令和2年3月の竣工に向けて県と地元調整を図りながら完成を目指す	令和3年度の完了に向け県と地元調整を図りながら完成を目指す
	3. 地域農業水利施設事業 ○烏川統合堰・総合堰 (改修工事) 2箇所	【当初】 実施調整を行いながら年度内での竣工を目指す。  【9月末までの取り組み状況】 烏川総合堰の更新作業に向け仮設工の契約を進めている。	河川内での施工となり期間が限られることから施工調整を密にししながら年度内完成を目指す。	令和2年3月の竣工に向けて県と地元調整を図りながら完成を目指す	R元年度終了
4. 農業水利施設保全合理化事業 ○物部川統合堰の機能診断保全計画書を作成。	【当初】 南国・香美・香南を含む物部川統合堰の機能診断保全計画書を作成。 本年度に計画書を作成し、採択に向け調整しているが本年度内の着手は困難な状況のため令和2年度事業採択に向け進める。  【9月末までの取り組み状況】 国交省また県、土地改良連合を含め令和2年の新規事業採択に向けて協議調整中である	町田統合堰の施設改修計画においては水路施設の老朽化に伴う更新が主であるため年間通しての取水調整がきわめて困難であると考えられ、施工実施調整を考慮しながら年間通した水の確保は必須条件であることから、施工期間も限られる。	河川管理者である国交省や県、また本事業の管理組織である土地改良区連合との調整を図りながら令和2年度の新規事業採択に向け実施調整しながら進めていく。	河川管理者である国交省や県、また本事業の管理組織である土地改良区連合との調整を図りながら令和2年度の新規事業採択に向け実施調整しながら進めていく。	

基盤整備・防災	5. 農地耕作条件改善事業（頭首工） ○門田堰・東佐古用排水路 2箇所	【当初】 県及び地元実施調整を図りながら頭首工及び用排水路工事完了を目指す。  【9月末までの取り組み状況】 門田堰についてはゴム袋体制作据付工事を実施中、現在土木仮設工事の発注に向け調整を図っている。 東佐古用排水路については契約済みで令和2年3月の竣工に向け進めていく	河川内での施工となり期間が限られることから施工調整を密にしながら年度内完成を目指す。	令和2年3月の竣工に向けて県と地元調整を図りながら完成を目指す	令和2年度の完了に向けて県と地元調整を図りながら事業完成を目指す
	6. 土地改良施設維持管理適正化事業 ○竹ノ内堰（ゴム体修繕工事）1箇所	【当初】 管理者との実施調整を図りながら工事完了を目指す。  【9月末までの取り組み状況】 修繕工事に向け見積依頼中、設計作成後入札手続きを進めて令和2年3月の完成を目指す。	河川内での施工となり期間が限られることから施工調整を密にしながら年度内完成を目指す。	令和2年3月の竣工に向けて県と地元調整を図りながら完成を目指す	就農相談から就農後の定着まで長期間の支援により経営を支援をする必要がある。関連部署との連携により、周知と支援を続けていく。 令和2年4月から夫婦型による開始予定者1件。 令和2年7月から夫婦型による開始予定者1件。 令和3年1月から開始予定者1件。
	7. 工業用水道整備事業（水路・道路等整備） ○水路1件（中組南18水路） ○道路1件（ナノ丸1号線道路）	【当初】 要望箇所の早期竣工に向け地元調整を図りながら工事完成を目指す。  【9月末までの取り組み状況】 ナノ丸1号道路は契約済み早期完成に向け施工を進める。なお中組南18水路についても入札等の施工調整を進めている。	道路整備については用地分筆に伴う登記作業が困難な箇所もあり数年間にわたる施工になるが、地元関係者等へも協力いただき調整をしながらできるだけ早い完了を目指す。	今後も計画的に要望箇所の地元協議を図りながら実施箇所の調整を進めていく。	今後も計画的に要望箇所の地元協議を図りながら実施箇所の調整を進めていく。
	8. 農業集落排水整備（上岡地区集落道改良工事） ○4水路・14水路 計 2件	【当初】 地元協議を図りながら要望箇所の早期竣工を目指す。 次年度に向け測量設計の発注計画を進めていく。  【9月末までの取り組み状況】 地元との施工調整を図りながら入札等の施工調整を進めている	用地買収に伴う道路幅も予定しており、また水路等の幅が狭く施工条件も大変厳しい場合もあるため実施箇所かについては地元代表者と密に図りながら完了を目指す。	今後も計画的に要望箇所の地元協議を図りながら実施箇所の調整を進めていく。	今後も計画的に要望箇所の地元協議を図りながら実施箇所の調整を進めていく。
◆防災への対策					
基盤整備・防災	1. 重油流出防止付装置燃料タンク整備事業（重油タンクの流出防止対策）  ○重油タンク流出防止対策 26基 ・タンク整備 15基 ・防油堤 9基 ・ヒートポンプ 2基	【当初】 県の補助金が30年度終了するということであったが、継続することとなったため、再び未設置の農家に周知を図り、設置率を上げていく。  【9月末までの取り組み状況】 ・タンク整備 5基 ・防油堤 4基	タンク整備の要望が減っているため、設置件数が減っている。 JAで把握できていない部分が多くあるため、より一層市の広報で周知する必要がある。	引き続き、市の広報やJAの広報で事業について周知していく。	今後も市やJAの広報を通じて周知していき、計画的に事業を進めていく。防災面に対しても危機感を抱いてもらうような周知の仕方を考えていく。
	◆担い手対策の促進				
経営改善・担い手	1. 担い手育成センター研修支援事業 ○担い手育成センター研修費補助10人支給	【当初】 これまで取り組んできた広報等での周知を継続し、将来的な就農者の確保も視野に新規就農者の育成を図る。 就農相談時に担い手育成センターに入校するように推進し、農業の基礎知識をつけていただけるように促していく取組を行う。  【9月末までの取り組み状況】 現在、8月から11月末まで2名が受講中。	就農相談時には、担い手育成センターでの研修の重要性について説明しているが、3ヶ月以上の宿泊による研修となるため、家庭の事情（妻の妊娠、子供の育児）等により実施に至らないケースがある。	引き続き、広報、パンフレットの配布、就農相談時での説明、短期研修への参加推進を行う。	担い手育成センターの研修は、基礎講座、専門講座、実践講座が受講でき、就農前に知識や体験ができる。ここでの研修が就農後の信頼度にもつながる。 広報、パンフレットの配布、就農相談時での説明、短期研修への参加推進に取り組み、将来的な就農者の確保を視野に、新規就農者の育成を図る。



経営改善 ・担い手	2-1. 新規就農推進事業 ○親元就農応援区分 3人	<p>【当初】</p> <p>東京や大阪で開かれる県主催の「新農業人フェア」、「高知農に就くフェア」等への参加に加え、平成30年度から始めた高知市のイオンモールでもPR活動を実施予定。 東京・大阪で行われる「高知暮らしフェア」へ参加し、周知拡大を図る。</p> <p>【9月末までの取り組み状況】</p> <p>8/14：合同就農相談会（イオンモール） 現在担い手育成センターで研修中の2名の研修が終了すれば、該当予定。</p>	<p>Uターン就農（就農する以前に1年以上高知県外に在住していた者が、高知県内に転居後1年以内に新たに就農すること、又は1年以上他産業等に就いていた者が退職後1年以内に新たに就農すること）の条件に当てはまらない場合がある。 担い手育成センターへの入校ができない場合は対象にならない。</p>	<p>新・農業人フェア（11/16：大阪、1/25：東京）へ参加し、意欲ある就農希望者を探す。</p>	<p>親元就農者は、新規参入者に比べると経営開始時のリスクが少なく、地域活動での活躍も期待ができる。 県の要綱が本年度に変更されたが、今後も親元就農に対する補助金の対象者について拡大がはかれるよう、県に要望していきたい。 引き続き、合同就農相談会や、県外でのフェアで周知を行う。</p>
	2-2. 新規就農推進事業 ○専業農家育成区分 4人	<p>【当初】</p> <p>同上</p> <p>【9月末までの取り組み状況】</p> <p>継続者2名（7月から就農者1名。3月末までの継続予定者1名。）</p>	<p>国の農業次世代人材投資事業（準備型）の要綱変更及び県の要綱変更にもとない、対象になりにくくなった。 担い手育成センターに入校しない者を対象とするか検討が必要である。</p>	<p>新・農業人フェア（11/16：大阪、1/25：東京）へ参加し、意欲ある就農希望者を探す。</p>	<p>就農希望者が、香南市の求める就農希望者であることを香南市担い手育成総合支援協議会で十分に見極める。 意欲ある就農希望者には、それぞれのビジョンにあった支援について検討していく。</p>
	3. 農業次世代人材投資事業 ○経営開始型 10人支給（延べ数） ※新規 3人	<p>【当初】</p> <p>産地提案書を基に広報やJA高知県香美支部、高知農業推進振興センターと連携し、周知を図っていく。</p> <p>【9月末までの取り組み状況】</p> <p>新規該当者：0件 継続者で支給該当者：7件（うち夫婦型1件） 就農状況報告：21件（うち夫婦型7件）</p>	<p>産地提案書によりある一定の人数を各部会で受け入れてきており、今後の受け入れについて産地提案書を見直す時期である。 補助金制度の見直しも行われているため、各々の就農ビジョンにより支援方法の検討が必要である。</p>	<p>研修状況等を考慮すると本年度の新規での補助対象は難しいと思われる。 対象者を見極め、補助制度が必要な希望対象者に交付できるよう、予算措置する。 次年度開始予定者に対し、適切な支援をしていく。 今まで交付を受けた人が、継続して営農を続けられるよう、関係機関と協力し、サポートする。</p>	<p>就農相談から就農後の定着まで長期間の支援により経営を支援をする必要がある。関連部署との連携により、周知と支援を続けていく。 令和2年4月から夫婦型による開始予定者1件。 令和2年7月から夫婦型による開始予定者1件。 令和3年1月から開始予定者1件。</p>
	4. 農業後継者推進事業 ○農業後継者 15人（延べ数）	<p>【当初】</p> <p>H30年度末で11名の給付が終了した。目標値を達成するために引き続きPRを行い、新規就農者の獲得につながる周知の実施する。</p> <p>【9月末までの取り組み状況】</p> <p>新規受給開始者：3名 継続受給者：4名 就農状況報告者：18名</p>	<p>Uターン就農に限定した親元就農に対する県の補助制度では該当にならない人を対象としており、県内でも香南市のみの取組として注目されている。 補助対象者が就農後5年以内であるため、様子を見ている人もいるようである。 所得要件（合計所得600万円未満）に当たらないために対象外となっている場合もある。</p>	<p>広報、関係機関への呼びかけ、新規就農イベント等で引き続き周知をはかる。 今まで交付を受けた人が、継続して営農を続けられるよう、関係機関と協力し、サポートする。</p>	<p>広報、関係機関への呼びかけ、新規就農イベント等で引き続き周知をはかる。 令和2年8月から受給開始予定者2件。</p>
	5. 実践型研修ハウス整備事業 ○ハウス面積 30a	<p>【当初】</p> <p>ハウス面積30a（10a×3棟）の建設 円滑な管理運営をしていく。</p> <p>【9月末までの取り組み状況】</p> <p>3棟分の設計を委託。入札の準備にかかる。作業小屋についても設計監理を委託済み。</p>	<p>作業小屋の建設を予定しているが、用途変更手続きの関係上6棟建てるができない。</p>	<p>研修ハウスを3棟完成させ、作業小屋を4棟建設する。</p>	<p>研修ハウスについては一定終了するが、付属の作業小屋について2棟建設予定。</p>
	6-1. 地域活性化対策事業 ○山北みらい（山北モデル）の運営に向けた調整・整備	<p>【当初】</p> <p>H31.3.14に行政・民間の垣根を越えた「協定の締結」を行い、繁忙期の農業従事人員不足の解消を図る準備を実施。 今後山北みらいとの連携を行い、事業実施に向けた協議を進めていく。</p> <p>【9月末までの取り組み状況】</p> <p>6/7（株）山北みらい設立。7月：物部川流域の特産物販売も視野に連携機関で協議・確認。8/19～中堅スーパー2社（東北、近畿）との業務提携に向けた商談等。仲卸業者の決定。山北みらい産地モニターツアー（7月実施、11月予定）</p>	<p>課題等： ①農業従事人員の増加は図ることができたが、同会社の運営等に係る人員が不足している。 ②同会社の拠点（事務所、作業場）となる施設整備について、県・市産業振興推進補助金の活用を検討していたが、地元生産者の出資をかんがみ、補助金支出のリスク軽減のため、JA並びに市所有の施設利用を検討する。</p>	<p>・会社運営等に係る人員の確立 ・会社拠点の確保及び施設整備等</p>	<p>（株）山北みらいの販路拡大や地域活動の取組を強化し、農業者所得の向上や地域雇用の促進等を図る。 生産者や行政・JAと連携して今後の会社運営を専属的に担う人材の育成・確保を図る。（任期後の協力隊員や地元生産者等）</p>

経営改善 ・担い手	6-2. 地域活性化対策事業 ○地域おこし協力隊の増員 新規 3人	<p>【当初】 農業担い手候補生2名、同研修生1名を増員し、就農者の獲得を図る。</p> <p>【9月末までの取り組み状況】 4/1研修生1名を増員。 7/1担い手1名を増員（6/1、辞退1名）</p>	令和元年度：地域おこし協力隊在籍者5名（6次産業化1名、農業担い手3名（鳥獣担当兼務1名含む）、同研修生1名）の地域就労に繋がる取組の継続。	研修生1名を繁忙期のみかん農業担い手として配置転換。将来の農業担い手として個々のスキルアップや地域での活動促進を図る。	担い手不足の解消や、農業生産所得の向上を主眼に協力隊の新規増員を行う。	
	◆経営の改善への対応					
	1. 園芸用ハウス整備事業 ○中古・新規ハウス整備件数 19件	<p>【当初】 JA高知県 香美支部、振興センターと連携し、事業を円滑に進めて行く。また、各広報誌や郵送物に案内を入れるなどして周知を図る。</p> <p>【9月末までの取り組み状況】 新規4件 流動化5件 研修ハウス1件</p>	概ね予定通りに事業を遂行できているが、新規ハウスで中止案件があった。	研修ハウスを含め、当初計画していた分は全て申請している。予算の枠が少しあるので、申請があれば随時受け付けていく。	例年通り要望があれば随時申請していく。また、引き続き市やJAの広報、説明会等で周知を図る。	
	2. 経営所得安定対策推進事業 ○利用件数 750件	<p>【当初】 H30年度より米作のみの農家が対象外となったことから、件数を変更。引き続き周知を図り、事業の推進に努める。</p> <p>【9月末までの取り組み状況】 705件</p>	<p>①経営所得安定対策事業を活用しニラ・メロン・トマトをはじめとする地域振興作物や非主食用米の生産の維持・拡大を図ることか出来たことにより主食用米は、県の示す生産数量目標目安（753ha）以下の作付け（713ha※予測値）となり過剰作付けが無く、需要に応じた米生産を推進する事ができた。</p> <p>②非主食用米のうち飼料用米に関して、普通品種はもとより専用の多収品種による取組においても収穫量が基準単収値（502kg/10a）以下となっているケースが多くみられる。</p>	<p>①経営所得安定対策等交付金交付申請者における作付状況や対象作物の販売等の確認などを行い、国から農業者への交付金支払いに向けた対象面積の報告を行う。</p> <p>②飼料用米の減収となった要因や対応策について、取組者やJA営農指導員等と情報共有を行う。</p>	<p>①引き続き、地域振興作物や非主食用米の生産の維持・拡大、需要に応じた米生産の推進を図り、併せて取組農家の生産性や所得の向上に寄与する事が可能となるように、経営所得安定対策事業の活用方法や水田フル活用ビジョン等の計画内容を関連機関と共有し、連携して事業の推進に努める。</p> <p>②飼料用米の取組者には、農林水産省作成の「多収品種の栽培マニュアル」の活用やJA営農指導員からの指導等を徹底し、収穫量の増収に繋げたい。</p>	
	3. 農地中間管理事業 ○利用件数 5件	<p>【当初】 関係機関と連携をし、耕作放棄地の解消を図る。また、認定農業者については案内文の送付や連絡協議会での担当者説明を実施予定。認定農業者外の農家については、広報等で周知を行う。</p> <p>【9月末までの取り組み状況】 5件の申請を受け付けて取り組んでいる。</p>	認定農業者に対しては年1回パンフレットを送付し、認定農業者連絡協議会総会で周知をしている。認定農業者以外には周知ができていない現状のため市の広報で周知を図っていく。	年末に認定農業者に対して中間管理事業のパンフレットを送付する。10月の認定農業者連絡協議会総会では県農業公社より中間管理事業の説明をしていただき、周知を図った。	これまで通り認定農業者に対してパンフレットを送付し、認定農業者連絡協議会でも事業の説明を県農業公社にしてみよう。市の広報に掲載しこれまで以上に周知を図っていく。	
	4. 環境制御技術導入普及促進事業 ○利用件数 17件	<p>【当初】 県の補助金はH30年度終了する予定であったが、要望などにより継続することとなったため、再び普及に取り組んでいく。</p> <p>【9月末までの取り組み状況】 現在12件の申請を受け付けて取り組んでいる。</p>	産地パワーアップ事業の事業計画承認が、10月中旬以降となるため、該当する環境制御装置については、10月中旬以降の申請となる。	10月中旬以降の申請に対して、早急に決定通知を発行して年度内完了に努めよう。	産地パワーアップ事業がR3年度まで申請可能となったが、事業繰越がないのはいつでも事業終了が可能である。そのため希望者には早急に取り組むよう農協や市場を通じてPRしていく。	
5. 産地パワーアップ事業 ○利用件数の増加 30件 ・環境制御 15件 ・結束機 2機 ・そぐり機 10機 ・ハウス資材 3件	<p>【当初】 県の補助金はH30年度終了する予定であったが、要望などにより継続することとなったため、再び普及に取り組んでいく。なお、H30年度は駆け込み需要を見込み、目標数値を上げたが、継続が決まったことから、下方修正とする。</p> <p>【9月末までの取り組み状況】 現在要望として「低コスト耐候性ハウス 3件」「ニラ洗浄そぐり機 6台」「結束機 1台」「加温機 2台」「環境制御装置他資材 8件」で予算補正を行っている。</p>	事業計画承認が10月中旬以降となる。	実施主体からの申請に対して、早急に決定通知を発行して年度内完了に努めよう。	事業がR3年度まで申請可能となったが、事業繰越がないのはいつでも事業終了が可能である。そのため希望者には早急に取り組むよう農協や市場を通じてPRしていく。		



経営改善 ・担い手	◆農産物のブランド化の推進と加工品の開発					
	1-1. 農山漁村振興交付金事業 (6次産業化の取組によるビジネスづくり)	○新商品販売開始数 1件	【当初】 前年度まで進めてきた取組を前進させるため、新たな商品の開発を行い、ビジネスの向上に努める。  【9月末までの取り組み状況】 山北みかんブランディング部会(2回)、ニラプロ部会(1回)を開催 9/20アグリコレットへの出店(とさのさと増設OPEN)にあたって、生産者による新商品「塩レモンバター」「塩レモンPEPPER」の取組。 試作品:山北みかんジュース(小瓶)の商品化等に向けた試飲アンケート等を実施。	・新商品ラベル作成費用の支援。 ・山北みかん加工班(JA果樹部女性部)の人員の増員。加工場の施設誘致等が必要。	新商品「塩レモンバター」「塩レモンPEPPER」の商品化。	・(株)山北みらいの運営体制の確立にむけた取組を行う。 ・山北みかんジュース(小瓶)の商品化等を行う。
	1-2. 農山漁村振興交付金事業 (6次産業化の取組によるビジネスづくり)	○既存商品販売個数 山北みかんバター 3,000個 山北みかんかき氷 300個	【当初】 加工品のブラッシュアップ、販路の強化を図る。また、加工品を含む「山北みかん」の認知度向上、ファン獲得のため都内PRイベントを開催。その他イベントへの参加によるPR活動を行う。  【9月末までの取り組み状況】 7月、みかんジュース等の販売等を(株)山北みらいが担うことについて生産者部会が同意。 9/10加工業者と製造委託の契約等について合意。	・山北みかんジュース(ふるさと納税用:大瓶)の製造に関して、JAが撤退したため、(株)山北みらいに引継ぎ調整。 ・品質表示基準の改正に伴い、山北みかんバターのラベル作成費用の支援等。	PR活動等の予定(山北みかん) ①10/25中央卸市場先:東京新宿ベジフルと国内外での販売の商談 ②11/3こもれびマルシェの支援 ③11/16~ふるさと大感謝祭でのPR ④11/23香南ふれあいまつり出店 ⑤11/29東京PRイベント主催 ⑥11/30JA千葉しょいかーごPR出店	・山北みかんジュースのJAL機内での提供にむけた取組を行う。 ・山北みかんのアイスクリーム化やピューレ化による販売を行う。 ・各GOLF高知開催時の空港でのPRイベントを再開する(人員不足の解消等)
	1. 地産地消推進協議会補助事業	○学校給食への市内産野菜(主要品目)の使用率 39%	【当初】 本年度は4月より「にんじんの供給」を開始。今後さらに新たに使用できる品目の計画を立て、学校給食への供給を推進する。  【9月末までの取り組み状況】 4月~9月までの地産地消率:31% 年間通して納品可能な食材の取り組みとして、新たな納入品目(乾燥にんにく、小松菜)についてJA、県などと取り組みを行っている。	当初、春先にかけて天候の状況により、生育状態が悪かったが、秋、冬以降の作付けについては概ね順調に進んでいる。	新たな納入品目として、小松菜を予定。納入に向けての課題など直販所、生産者と協議を行う。	新たな品目の納入に向けて、課題など直販所、生産者と取り組んでいく。
2. 信頼される産地づくり支援事業	○利用件数 123検体	【当初】 引き続き支援事業を行い安全・安心な農産物づくりに取り組んでいく。  【9月末までの取り組み状況】 年度末の実施のため未実施	年度末に実施。	農産物の安全・安心を証明することを目的として残留農薬検査を実施していく。	引き続き関係機関が一体となった安全・安心な農産物づくりに取り組んでいく。	
中山間	◆農地の保全と活用の促進					
	1. 中山間地域等直接支払事業	○組織数 11組織	【当初】 適正な維持管理を行ってもらうよう、指導・助言を行う。 4期対策5年目の最終年度となるため、取組の維持に向けた説明会を開催していく。  【9月末までの取り組み状況】 元年度の対象面積は微増。5期対策(次期対策R2~)に向けて取組の継続を各組織と協議。	各集落と課題等について協議を行い、次期対策にも取り組んでもらえる見通し。	・10/28次期対策の制度改正等について各集落代表と説明会に参加。 ・各組織の総会等に出向き、農業者に取組を促す。	広報その他により、制度について周知を行い、対象面積・農業者数の増加を図る。

中山間	2. 多面的機能支払事業 ○組織数 10組織	<p>【当初】 各広報誌、ケーブルテレビなどで制度の周知を図る。また、各地域の農業委員と調整し、事業が実施できそうな地区に対して、説明に出向く取組等を行い、新組織の立ち上げに繋げる。</p> <p>【9月末までの取り組み状況】 9組織</p>	活動継続中3組織、H30年度で活動期間を満了し今年度再認定の5組織、新規立ち上げの2組織の計10組織が活動する予定であったが、新規組織1組織において、地域との調整が間に合わず、来年に持ち越しとなった。	活動組織が円滑に事業を実施できるように市主催の研修会を開催予定。	R2年度において、今年度で活動期間を満了する1組織、新規立ち上げ2組織を認定する予定であるため、対象農地の選定及び活動計画の制定等、地域と調整し準備していく。
	◆有害鳥獣被害対策				
	1. 鳥獣被害対策実施隊 ○捕獲数 870頭羽 ・猪 220頭 ・鹿 150頭 ・カラス等 500頭羽	<p>【当初】 被害対策協議会等、各地区の狩猟代表者が集まる場において、鳥類駆除への協力を要望し、捕獲数増加・目標値達成を目指していく。</p> <p>【9月末までの取り組み状況】 捕獲数 313頭羽 猪 173頭 鹿 52頭 カラス等 88頭羽</p>	猪、鹿の捕獲数については、概ね予定通りであるが、カラス等の捕獲数が少ない状況である。	引き続き、香南地区猟友会や香我美狩猟クラブと連携しながら、捕獲数を増やしていく。	香南地区猟友会や香我美狩猟クラブと連携しながら、捕獲数を増やしていく。
2. 有害鳥獣被害防止事業 ○防止柵延長 10,000m	<p>【当初】 窓口等での案内や広報掲載等で本事業の周知を図り、事業を進めていく</p> <p>【9月末までの取り組み状況】 4,278m</p>	概ね予定通りに事業を実施できている。	引き続き事業を周知し、活用に繋げる。	引き続き事業を周知し、活用に繋げる。	




	各年度末目標値 森林境界 明確化面積 (ha)	実績値 (9月末実績)	評価	備考
R元年度 数値目標	150ha	0ha	—	H31年度の目標値は150haとなっているが、H30年度までの実績を踏まえ、H31年度の目標値を50haと設定する。
H30年度実績	150ha	22.71ha	C	
H29年度実績	150ha	0ha	C	

**【R元4月～9月の取組について】 (P・D・C)**  
 当初計画していた場所において、森林所有者の同意を求めていたが、すべての同意が得られることが難しくなったため、事業実施可能な面積は少なくなる見込みである。

**【R元10月以降の取組について】 (A)**  
 事業可能な面積については予定通り事業を実施できるように取り組む。  
 また、必要に応じて香美森林組合と「所有者不明の森林一覧表」を共有し、税務収納課と連携して森林所有者の特定に協力していく。

対象森林の所有者に対して、説明会を開催し、所有者に協力して貰えるように努め、事業を円滑に進めていく。

戦略の柱	事業名	具体的な取組 【D】	総括 【C】	今後の取組 (対策、改善について) 【A】	
	R元年度の目標値 【P】		原因及び課題 (分析)	R元年度末 (下半期) に向けての取組内容を記載	R2年度 (次年度) に向けての取組内容を記載
  基盤整備	◆林業の振興				
	1. 林道道路側溝整備事業				
	①林道施設災害復旧 3路線4箇所	<b>【当初】</b> H30年度7月豪雨により被災した各林道施設のうち、今年応急仮工事までで終了している3路線4箇所を順次施工。  <b>【9月末までの取り組み状況】</b> 現在畑山仲木屋線2号箇所が完成。その他も現在施工中であり、完成を急いでいる。	本年度の台風等の影響を受け、多少遅延が出たが、概ね予定通りに進行している。 集落への生活道となっていることもあり、できるだけ早急な復旧を目指す。	引き続き早急な復旧を目指し施工を行う。	引き続き実施していくが、来年度以降の香南市産業振興計画林業部会の取組としては外す予定。
	②林道維持管理舗装修繕工事 A=1,000㎡	<b>【当初】</b> 舗装部を全路線でA=1,000m2程度施工。  <b>【9月末までの取り組み状況】</b> 契約済み、災害復旧工事と調整しつつ順次施工予定。	上記工事同様できるだけ早急な復旧を目指す。	引き続き早急な復旧を目指し施工を行う。	引き続き実施していくが、来年度以降の香南市産業振興計画林業部会の取組としては外す予定。
③側溝清掃 L=2,000m	<b>【当初】</b> 各林道施設の状態を考慮し、特に改善の必要な路線においてL=2000m程度の側溝の清掃を行う。  <b>【9月末までの取り組み状況】</b> 未実施。	当初の予定通り、降雨等により土砂が堆積しやすい夏季を避け、冬季に施工を行う。	12月以降発注予定。	引き続き実施していくが、来年度以降の香南市産業振興計画林業部会の取組としては外す予定。	

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	総括【C】	今後の取組（対策、改善について）【A】	
	R元年度の目標値【P】		原因及び課題（分析）	R元年度末（下半期）に向けての取組内容を記載	R2年度（次年度）に向けての取組内容を記載
森林資源保全	◆林業の振興				
	1. 緊急間伐総合支援事業				
	①切捨間伐 （香南市全域） H30年度繰越分 1.43ha H31年度実施分 10ha	【当初】 計画通りに実施する  【9月末までの取組み状況】 実施中 0ha	実施中である。 個人が行った間伐を香美森林組合が取り まとめて申請するため、実績値の確定は 本年度末になる。	本年度末に完了予定。	引き続き事業を実施していく。
	②保育間伐 （香我美町舞川・撫川・奥西川、夜須 町仲木屋） 20ha	【当初】 H30年7月豪雨で被災した県道・作業道の復旧が 完了次第、事業を実施する。  【9月末までの取組み状況】 未実施	H30年7月豪雨で被災した県道222号（奥西 川岸本）線の復旧が完了していないた め、未実施。 県の補助事業の申請が12月末で締め切ら れるため、今年度の事業実施を断念す る。	来年度の実施に向けて調整する。	引き続き事業を実施していく。 県道が復旧次第、令和元年度に未実 施となった箇所を含めて実施してい く。
	③搬出間伐 未確定	【当初】 H30年7月豪雨で被災した県道・作業道の復旧が 完了次第、事業を実施する。  【9月末までの取組み状況】 未実施	H30年7月豪雨で被災した県道222号（奥西 川岸本）線の復旧が完了していないた め、未実施。県の補助事業の申請が12月 末で締め切られるため、今年度の事業実 施を断念する。	来年度の実施に向けて調整する。	引き続き事業を実施していく。 県道が復旧次第、令和元年度に未実 施となった箇所を含めて実施してい く。
	④作業道整備 （夜須町仲木屋）開設 400m 復旧 3箇所	【当初】 H30年7月豪雨で被災した県道・作業道の復旧が 完了次第、事業を実施する。  【9月末までの取組み状況】 未実施	H30年7月豪雨で被災した県道222号（奥西 川岸本）線の復旧が完了していないた め、未実施。県の補助事業の申請が12月 末で締め切られるため、今年度の事業実 施を断念する。	来年度の実施に向けて調整する。	引き続き実施していくが、来年度以 降の香南市産業振興計画林業部会の 取組としては外す予定。
	2. 森林整備地域活動支援事業				
	①森林経営計画作成 （香我美町撫川）50ha	【当初】 昨年度の森林境界明確化の実施箇所を含む50ha を実施する。  【9月末までの取組み状況】 実施中 0ha	実施面積を調整した結果、30haを実施予 定である。	本年度中の完了に向けて事業を実施 する。	引き続き実施していくが、来年度以 降の香南市産業振興計画林業部会の 取組としては外す予定。
②森林境界明確化 （香我美町撫川）50ha	【当初】 計画通りに事業を実施できるように、今後も香 美森林組合と連携しながら、森林所有者の特定に 協力していく。 また、森林所有者への事業への理解が得られる ように「森林境界明確化」について周知し、同意 者を増やしていく。  【9月末までの取組み状況】 実施中 0ha	当初計画していた場所において、森林所 有者の同意を求めていたが、すべての同 意が得られることが難しくなったため、 事業実施可能な面積は少なくなる見込み である。	本年度中の完了に向けて事業を実施 する。 必要に応じて香美森林組合と所有者 不明の森林一覧表を共有し、所有者 の特定に協力していく。	引き続き実施していく。	

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	総括【C】	今後の取組（対策、改善について）【A】		
	R元年度の目標値【P】		原因及び課題（分析）	R元年度末（下半期）に向けての取組内容を記載	R2年度（次年度）に向けての取組内容を記載	
森林資源保全	3. 森林・山村多面的機能発揮対策事業 ○事業の活用に向けた周知	【当初】 申請窓口が高知県森と緑の会のため、森と緑の会とともに周知方法を検討する。 また、事業説明用として活用しているチラシ等を香南市内の林業関係者に配布するとともに、香南市広報に掲載を行う。 【9月末までの取り組み状況】 未実施	広報1月号に掲載し周知を図る。 事業の活用状況としては、今年度は香南市内の森林で活動を実施する組織が無かったため、未実施。	広報1月号に掲載予定。	引き続き実施していくが、来年度以降の香南市産業振興計画林業部会の取組としては外す予定。	
	4. 林地台帳整備事業 ○システムの整備（情報の更新・追加）	【当初】 森林所有者や境界の情報の整備が不十分であるため、県と連携し、円滑な情報の追加・更新を進めていく。 【9月末までの取り組み】 調整中。	現在、県がシステムの円滑な運用に向けて整備中。	県と連携しながら、システムの整備を進めていく。	引き続き実施していくが、来年度以降の香南市産業振興計画林業部会の取組としては外す予定。	
	5. 水源の森整備事業 ○搬出間伐（香我美町撫川・奥西川）10ha	【当初】 計画通りに実施する 【9月末までの取り組み状況】 未実施	緊急間伐総合支援事業の搬出間伐が県道の復旧が遅れたため未実施。	来年度の事業実施に向けて調整する。	引き続き実施していくが、来年度以降の香南市産業振興計画林業部会の取組としては外す予定。	
	6. 森林整備推進事業（高性能林業機械導入） ○スイングヤーダ 1台の導入	【当初】 計画通りに実施する 【9月末までの取り組み状況】 未実施	本年度中の導入に向けて調整中。	本年度末に導入予定。	引き続き実施していくが、来年度以降の香南市産業振興計画林業部会の取組としては外す予定。	
	◆林業の振興					
	木質バイオマス	1. 森林の活用 ○農業ハウス用ペレットボイラー譲渡。	【当初】 既存の2基は運用中。 耐用年数に達したため、本年度中に利用者への譲渡を検討する。 【9月末までの取り組み状況】 問題なく運用中。譲渡は未実施	利用者への譲与に向けて調整中。	本年度中に利用者へ譲渡する。	来年度以降の香南市産業振興計画林業部会の取組としては外す予定。 現在の運用中である2基を利用者に譲渡後は新たに導入の予定無し。
木育事業	◆山や森林に親しむ機会の提供					
	1. 森林学習事業 新 ○森林学習の実施	【当初】 高知県森と緑の会の事業を活用し、小中学校の子どもたちを対象に森林学習を行い、森林に関心をもってもらう取組を実施する。 【9月末までの取り組み状況】 8/25（日）に野市図書館で木育イベントを開催。	小学生以上を対象に山や木についての話や葉脈標本作り、葉っぱの炭焼き体験を実施し、山や木に親しむきっかけを作ることができた。	来年度は、小・中学校の授業又は行事の一環として、開催できるように教育委員会や各小・中学校と日程調整する予定。	引き続き実施していく。	



	各年度末目標値 沿岸漁業 総生産量 (t)	実績値 (9月末実績)	評価	備考
R元年度 数値目標	1,200 t	707 t 【176,740千円】	—	<p>■ 沿岸漁業総生産量 707 tの内訳 (手結 477 / 赤岡 115 / 吉川 115)</p> <p>■ 漁獲高 176,740千円 内訳 (手結 59,258 / 赤岡 65,679 / 吉川 51,803)</p>
平成30年度末	1,200 t	1,119 t 【358,873千円】	B	<p>■ 沿岸漁業総生産量 1,119 tの内訳 (手結 499 / 赤岡 343 / 吉川 216 / 民間1社 61)</p> <p>※ 三港の計 1,058 t</p> <p>■ 漁獲高 358,873千円 内訳 (手結 95,259 / 赤岡 152,529 / 吉川 78,877 / 民間 32,208) ※三港の計 326,665千円</p>
平成29年度末	1,200 t	839 t 【292,760千円】	B	<p>■ 沿岸漁業総生産量 839 tの内訳 (手結 337 / 赤岡 316 / 吉川 186)</p> <p>■ 漁獲高 292,760千円 内訳 (手結 71,200 / 赤岡 141,820 / 吉川 79,740)</p>

【R元4月～9月の取組について】(P・D・C)  
生産量については707t (H30.9末 535t)と前年比131%と増加している。各港共に増加しているが、主要な要因としては、赤岡・吉川のイワシシラスが6・7月が例年になく好調であったことが要因である。  
しかし、生産額は176,740千円 (H30.9末 149,224千円)と前年比118%と増加しているものの、手結の生産額が59,258千円 (H30.9末 70,807千円)と前年比84%となっており、近隣県等でシイラが多数水揚げされたことで、シイラの魚価が下がったことが原因と考えられる。

【R元10月以降の取組について】(A)  
9月末の実績でも推測されるように、水産業は外的要因(他産地の好不漁等)により大きく左右される産業である。  
目標値は「生産量」であるが、「生産額」は直接漁業所得に繋がるものであり、評価については「生産額」を重要視していく。  
「生産額」を向上させるためには、最終商品の需要がないと(売れないと)上がっていかない。  
今年度、他事業者との連携により、シイラ加工品が11月よりふるさと納税の返礼品として流通する予定であり、今後その出荷状況も踏まえて関係機関と協議し、広く展開していけるようにしていく必要がある。  
また、水産物を地元から発信するため、市内飲食店(例えば商工会・観光協会の会員等)での使用状況について調査し、今後の展開に繋げていく。

注1) 水産業分野における目標値は沿岸漁業総生産量であり、【 】の生産額は参考数字として記載。

戦略の柱	事業名	具体的な取組 【D】	総括 【C】	今後の取組(対策、改善について) 【A】	
	R元年度の目標値 【P】		原因及び課題(分析)	R元年度末(下半期)に向けての取組内容を記載	R2年度(次年度)に向けての取組内容を記載
改修整備	◆水産業の振興 1. 水産機能施設の整備 ○老化に伴う各種漁業用施設の改修整備(2件)	<p>【当初】 県漁協吉川支所 水産機能施設改修事業 ・共同作業施設(漁具倉庫)雨漏り補修 ・集荷貯蔵施設(冷凍庫)機器更新</p> <p>各支所単位で支所長・地区代表へのヒアリングを通じて、設備改修・整備を実施していく。</p> <p>【9月末までの取り組み状況】</p> <p>県漁協吉川支所 水産機能施設改修事業 ・共同作業施設(漁具倉庫)雨漏り補修 →設計業務完了・工事発注準備 ・集荷貯蔵施設(冷凍庫)機器更新 →設計業務発注済</p>	現在計画どおり順調に進捗している。	<p>県漁協吉川支所 水産機能施設改修事業 ・共同作業施設(漁具倉庫)雨漏り補修 →12月末完成予定 ・集荷貯蔵施設(冷凍庫)機器更新 →12月工事発注・3月完成予定</p> <p>計画している改修整備以外に緊急の故障等により、漁業活動への支障を来している施設もある。そのため、各支所の状況を継続してヒアリングし、漁協と連携し適切な維持管理に努める。</p>	円滑な漁業生産体制を維持していくため、施設の管理に努める。また今後は支所・市場の廃統合も議論されていくことになるので、その動向も踏まえ、対応を検討していく必要がある。 老化に伴い年々修繕等が増加している傾向にあり、整備件数を目標値として掲げ、評価していくことは実情とあっていないため、第2期からは目標値から削除する。
	2. 漁港施設の整備 ○機能保全計画に沿った保全工事の実施 ○吉川漁港海岸堤防耐震化の事業化に向けて関係機関と調整 ○県営事業(港湾・漁港・海岸)への要望活動継続	<p>【当初】 ・住吉漁港 西防波堤 設計業務 ・吉川漁港 船揚場(4)・護岸(東) 保全工事</p> <p>【9月末までの取り組み状況】 ・住吉漁港 西防波堤 設計業務→発注済 ・吉川漁港 船揚場(4)・護岸(東) 保全工事 →施工中</p>	漁港機能保全工事については現在計画どおり順調に進捗している。	<p>・住吉漁港 西防波堤 設計業務 →1月末完了予定</p> <p>・吉川漁港 船揚場(4)・護岸(東) 保全工事 →11月末完成予定</p>	産業振興の面から、直接漁業生産に関する整備ということで、海岸事業を削除し、第2期からは「漁港整備」のみとする。 ・機能保全計画に沿った保全工事(住吉・吉川) ・県営事業への要望等(赤岡・手結)



戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	総括【C】	今後の取組（対策、改善について）【A】	
	R元年度の目標値【P】		原因及び課題（分析）	R元年度末（下半期）に向けての取組内容を記載	R2年度（次年度）に向けての取組内容を記載
経営基盤強化	◆水産業の振興				
	1. 新規漁業就業者の確保 ○（一社）高知県漁業就業支援センターとの連携による新規漁業就業者の確保	【当初】 ・センター事業への支援・連携・活用 【自営漁業者育成事業】 【雇用型漁業支援事業】 【漁家子弟支援事業】  【9月末までの取り組み状況】 希望者なし	【自営漁業者育成事業】については、市内漁業形態から難しい現状であるが、【雇用型漁業支援事業】・【漁家子弟支援事業】については可能性があるだけに、既存漁業者への支援事業の周知が必要である。	今後は既存漁業者向けの事業説明会を（一社）高知県漁業就業支援センターと連携し実施していく。	（一社）高知県漁業就業センターの方に水産業部会委員として参画していただいたことで、より一層の連携を図り、漁業者確保に努めていく。
経営基盤強化	2. 漁場の保全 ○手結地区藻場保全活動 母藻の設置 ○赤岡・吉川掃海事業 出水時の掃海	【当初】 【手結地区藻場保全活動】 活動組織による母藻採取実施 【赤岡・吉川掃海事業】 掃海用網の整備（赤岡・吉川各1網）  【9月末までの取り組み状況】 【手結地区藻場保全活動】 総会実施、活動は未実施 【赤岡・吉川掃海事業】 未実施	【手結地区藻場保全活動】 採択決定が8月になったため、活動開始時期が遅くなり、台風や雨の関係で活動が実施できていない。  【赤岡・吉川掃海事業】 掃海用網についての規格等の検討に時間を要している状況	【手結地区藻場保全活動】 活動しやすい5月から6月頃に活動開始できるよう、関係機関へ要望していく。  【赤岡・吉川掃海事業】 漁協の連携で、他地区の状況を調査し、導入する参考とする。	【手結地区藻場保全活動】 継続して実施していくことが必要であるが、活動組織との調整のうえ、母藻設置・魚類駆除も実施できるようにしていく。  【赤岡・吉川掃海事業】 継続して実施していく。
経営基盤強化	3. 漁業者の所得向上 ○沿岸漁業設備投資促進事業 ○シラス漁における所得向上対策の検討 ○種子島周辺漁業対策事業	【当初】 ・【沿岸漁業設備投資促進事業】 （エンジン導入） エンジン導入に伴う燃費向上等の経費削減及び生産性の向上に対する支援を実施し、漁業者の所得向上を図る。 ・【シラス漁における所得向上対策の検討】 生産・加工・流通・販売の一連の流れの中で対策を考えていく必要があり、先進地事例を探し、視察することで、今後どのように進めていくか検討することも考えていく。 また、シラス漁に特化した話し合いの場を持つことも検討していく。 ・【種子島周辺漁業対策事業】 県漁協手結支所が行う「築いそ設置事業」により、イセエビの生産量の増加・漁業者の所得向上を図る。  【9月末までの取り組み状況】 ・【沿岸漁業設備投資促進事業】 （エンジン導入） 県漁協手結支所所属漁業者（1件） →交付決定済 ・【シラス漁における所得向上対策の検討】 先進地視察（大阪府鱈巾着網漁業協同組合）の実施（8/22・23） ・【種子島周辺漁業対策事業】 築いそ設置事業（県漁協手結支所） →交付決定済 ・【沿岸漁業総生産量・生産額】	・【沿岸漁業設備投資促進事業】 （エンジン導入） 県漁協手結支所所属漁業者（1件）が採択となったが、希望者はいることから継続して要望を実施していく必要がある。  ・【沿岸漁業総生産量・生産額】 生産量については707t（H30.9末 535t）と前年比131%と増加している。各港共に増加しているが、主原因としては、赤岡・吉川のイワシシラスが好調であったことが要因である。その反面、生産額は176,740千円（H30.9末 149,224千円）と前年比118%と増加しているものの、手結の生産額が59,258千円（H30.9末 70,807千円）と前年比84%となっており、近隣県等でシラスが多数水揚げされたことで、シラスの魚価が下がったことが原因と考えられる。	・【沿岸漁業設備投資促進事業】 （エンジン導入） 県漁協手結支所所属漁業者（1件） →2月完成予定  ・【種子島周辺漁業対策事業】 築いそ設置事業（県漁協手結支所） →2月完成予定  ・【沿岸漁業総生産量・生産額】 ・9月末の実績でも推測されるように、水産業は外的要因（他産地の好不漁等）により大きく左右される産業である。目標値は「生産量」であるが、「生産額」は直接漁業所得に繋がるものであり、評価については「生産額」を重要視していく。「生産額」を向上させるためには、最終商品の需要がないと（売れないと）上がっていかない。今年度、他事業者との連携により、シラス加工品が11月よりふるさと納税の返礼品として流通する予定であり、今後その出荷状況も踏まえて関係機関と協議し、広く展開していけるようにしていく必要がある。また水産物を地元から発信するため、市内飲食店（例えば商工会・観光協会の会員等）での使用状況について調査し、今後の展開に繋げていく。	・【沿岸漁業設備投資促進事業】 （エンジン導入） 当事業を含め、漁業者は設備投資の際に、水産業制度資金（近代化資金等）の借入れをおこなっている。そのため利子補給をできる制度を市として整備していく必要がある。  ・【シラス漁における所得向上対策】 視察したことについて、今後産業振興計画の取り組みの中で、参考にできる部分についてどのように実行していくか、継続して関係者と議論していく必要がある。
経営基盤強化	4. 観光漁業の推進 ○地引き網の取組、議論とも停滞のため一時検討を中止	【当初】 -  【9月末までの取り組み状況】 -	-	-	-

	年度	手結	赤岡	吉川	合計
生産量(t)	R1.9末	477	115	115	707
	R30.9末	408	69	62	539
生産額(千円)	R1.9末	59,258	65,679	51,803	176,740
	R30.9末	70,807	42,641	35,776	149,224

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	総括【C】	今後の取組（対策、改善について）【A】	
	R元年度の目標値【P】		原因及び課題（分析）	R元年度末（下半期）に向けての取組内容を記載	R2年度（次年度）に向けての取組内容を記載
生産・加工 流通・販売 <b>新</b>	◆水産業の振興				
	1-1. 水産加工品流通販売の推進 ○シラス（かちりじゃこ）の学校給食納入に向けて取り組みを継続及び実現 ○シイラ加工事業（高知県漁協手結支所）	<p>【当初】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>給食センターによる加工場視察</li> <li>課題解決策検討</li> <li>○配送時間対応</li> <li>○混獲物除去・大きさ等</li> </ul> <p>【9月末までの取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【シラス（かちりじゃこ）の学校給食納入】</li> <li>8月 給食センターによる加工場視察実施</li> <li>9月 各加工業者へ結果報告</li> <li>納入可能 1社</li> <li>製品調整後可能 1社</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>【シイラ加工事業】</li> <li>○シイラ学校給食納入回数 12回（H30 12回）</li> <li>○シイラ販売額 36,907千円（H30 41,650千円）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【シラス（かちりじゃこ）の学校給食納入】</li> <li>両センター共、試験的納入可能との結果となった加工業者は1社のみであった。また製品の調整を行えば可能であると赤岡・吉川学校給食センターから回答を受けた1社があった。</li> <li>加工業者からは納入時間の対応で、両センター対応は難しい。食数が多いところ是对応できないという意見があった。また、加工業者も確認事項等があり、現在調整中。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>【シイラ加工事業】</li> <li>近隣県等でシイラが捕れていたこともあり、注文数量が減少したことにより、前年度比89%と販売額が減少した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【シラス（かちりじゃこ）の学校給食納入】</li> <li>加工業者の意向もあるが、年度内に給食納入に向けて調整していく。また製品の調整についても継続して実施する。</li> <li>【シイラ加工事業】</li> <li>継続して納入していくが、今後は近隣給食センターへの営業も実施。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>【食育・体験学習】</li> <li>10月予定 赤岡小世代間交流（海岸清掃・調理体験）</li> <li>2月予定 赤岡小三枚おろし教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【シラス（かちりじゃこ）の学校給食納入】</li> <li>給食センターへの納入が年度内に実現しない場合でも根気よく調整していく必要がある。</li> </ul>
	1-2. 水産加工品流通販売の推進 ○市内水産物の認知度向上に向けた取り組み（ネーミング等） ○内水面漁業振興策の掘り起こし	<p>【当初】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関との協議</li> <li>内水面漁業関係者からの意見・課題等の聞き取りを実施し、部会の中で報告し、振興策の検討を実施できるような体制づくりを行う。</li> </ul> <p>【9月末までの取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【市内水産物の認知度向上】</li> <li>高知県漁協手結支所とmanamanaとの連携による、シイラ製品のふるさと納税返礼品としての活用協議</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>【内水面漁業振興策の掘り起こし】</li> <li>内水面関係者の聞き取りの結果</li> <li>○物部川の環境保全</li> <li>○内水面漁連からの稚鮎の購入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【市内水産物の認知度向上】</li> <li>県漁協手結支所のみでは人手不足等により、原魚の提供のみが精一杯の状況であり、今後販売面でのパートナーと連携していく必要がある。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>【内水面漁業振興策の掘り起こし】</li> <li>○物部川の環境保全</li> <li>市関係部署（地域支援課・農林課）等の取り組みと連携していく必要有。山・川・海の繋がり</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○内水面漁連からの稚鮎の購入</li> <li>現在、稚鮎の購入は県外から地元で生産された稚鮎は県内河川放流用のみで購入できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【市内水産物の認知度向上】</li> <li>○manamanaのふるさと納税返礼品の実績による今後の展開検討・協議</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>【内水面漁業振興策の掘り起こし】</li> <li>○物部川の環境保全</li> <li>○内水面漁連からの稚鮎の購入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【市内水産物の認知度向上】</li> <li>○地元からの情報発信</li> <li>市内水産物の市内飲食店（商工会・観光協会の会員等）での使用状況について調査し、使用してもらうよう働きかけの実施</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○他事業者との連携による商品発信の検討・協議</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>【内水面漁業振興策の掘り起こし】</li> <li>○いただいた意見を基に、関係機関と調整し、取り組みを実施していく。</li> </ul>

	各年度末目標値 製造品出荷額 (億円)	実績値 (9月末実績)	評価	備考
R元年度 数値目標	500億円以上	億円	—	
H30年度実績	500億円以上	397億円 (注1)	B	
H29年度実績	500億円以上	371億円 (注2)	B	

**【R元4月～9月の取組について】 (P・D・C)**  
 ・目標値（製造品出荷額等）500億円に対し、平成30年の実績値は未だ公表されていないことから、令和元年9月末現在の評価は示していないが、平成30年5月末で閉鎖したルネサス高知工場の製造品出荷額を考慮すると、製造品出荷額は大きく減少することが予想される。  
 （※平成30年中の製造品出荷額等の数値は令和2年2月頃に工業統計より公表予定）  
 ・各支援制度を市HP等に掲載し、事業の周知を図った。  
 ・香南カーニバルについては、適宜実行委員会を開催し、企画内容や進捗状況等の確認を実施し、開催に向けて取り組んでいる。  
 ・セミナーの開催や創業支援計画の見直し、キャッシュレスの推進等については、取り掛かれておらず、10月以降に随時取り組んでいく。

**【R元10月以降の取組について】 (A)**  
 ・各支援制度については、引き続き市HP等でも周知を図るとともに、市内金融機関へ訪問し制度説明等を実施し、利用につながるよう取り組んでいく。また、空き店舗対策として、市内空き店舗情報を一元化し発信するための仕組みづくりに取り組んでいく。  
 ・事業承継については、商工会だけでなく高知県引継ぎ支援センター等とも連携を強化する必要があるため、センター訪問等を実施し、取り組みの共有等を行う。

※ 目標値である「製造品出荷額」は毎年2月に公表されるため、(注1)はH29年度、(注2)はH28年度の製造品出荷額を記載。

戦略の柱	事業名	具体的な取組 (D)	総括 (C)	今後の取組 (対策、改善について) (A)	
	R元年度の目標値 (P)		原因及び課題 (分析)	R元年度末 (下半期) に向けての取組内容を記載	R2年度 (次年度) に向けての取組内容を記載
商業支援	<b>【既存企業の育成・支援】</b>				
	1. 香南市緊急融資保証料補給金事業 ○新規利用件数：2件 (7年満期+10年満期) ※ 令和元年度より「金額」ではなく、セーフティネットとして活用された新規件数（既存利用数からの増加数）を目標数値とする。	<b>【当初】</b> 商工会や金融機関等と連携し緊急融資を必要としている対象者への周知を行う。 <b>【9月末までの取組状況】</b> 平成31年4月1日付けで高知県信用保証協会と補給金交付契約書を締結。 ・第1回支払 4,198円 ・第2回支払 32,206円	新規利用件数は0件となっているため、緊急融資を必要とする方への制度周知を引き続き実施する必要がある。	商工会等と連携し緊急融資を必要とする方への周知を実施する。	次年度以降も、緊急融資を必要とする方への周知を実施する。
	2. 魅力のある商業地・商店街づくり ○香南カーニバルの継続開催 パル参加店舗数の獲得 45店舗 【参考：H30実績 45店舗】 ※ 令和元年度より「チケットの販売数」ではなく「パル参加店舗数」を目標数値とする。	<b>【当初】</b> 香南市内外の方に、香南市内の飲食店の魅力を知っていただく機会の提供を行うため香南バルを開催する。 <b>【9月末までの取組状況】</b> ・香南バル実行委員会の開催 ・9月末の参加店舗 (45店舗) ・市内事業者への参加周知 ・今回から芸西村の事業者もカーニバルに参加している。また、タクシー業者も参加したことで、バルチケットでタクシーが利用できるようにしている。	前回参加店舗等を実行委員会が中心となり参加の声かけを実施し、9月末現在では、45店舗となっている。	11月17日～24日にかけて香南カーニバルが実施されるため、各団体のHP等を利用しバルチケットの購入を促す。	次年度以降も継続して第3回香南カーニバルを実施するとともに、参加店舗やお客様の声を反映し、より市内飲食店の魅力を知っていただく企画等を検討する。
<b>新</b> 3. 学びの機会の創出 ○事業者向けセミナーの開催 1回	<b>【当初】</b> 事業者が必要とするSNSを活用した情報発信講座等の「学ぶ機会」を提供する。 <b>【9月末までの取組状況】</b> ・実施に向けて予算確保 ・講師の確保	市が主催で実施するセミナー（SNSを活用した情報発信やマーケティング等）に向けて予算確保を行っている。	予算確保ができれば、講師調整を行うとともに、広報チラシを作成し、セミナーを実施する。 商工会が主催でFCP商談会シート作成等に関するセミナーを実施する。	今後も参加者の声を反映した形で実施し、市内事業者に対する学ぶ機会の提供を行う。	



戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	総括【C】	今後の取組（対策、改善について）【A】	
	R元年度の目標値【P】		原因及び課題（分析）	R元年度末（下半期）に向けての取組内容を記載	R2年度（次年度）に向けての取組内容を記載
<b>商業支援</b> <div style="text-align: right;"> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">新</span> </div>	<b>拡</b> 4-1. 空き店舗等の活用【補助金交付】 ○空き店舗等対策事業費補助金利用件数 2件 【参考】 市：補助率2/10 上限 400千円 県：補助率1/2 上限1,000千円	<b>【当初】</b> 香南市空き店舗対策事業費補助金の要綱を一部改正し、補助対象を香南市の「商店街の活性化」から「商業の活性化」へと拡充し、空き店舗の活用に関係するとともに、HP等での情報発信を継続して実施する。 空き店舗を活用し創業される方には香南市外の方もいる。香南市の創業者のみが受けられる支援を検討し、香南市外の創業者が創業を機に転入へと繋がる取組を地域支援課と連携し検討していく。 <b>【9月末までの取り組み状況】</b> ・市HP等への掲載 ・問い合わせ 2件	9月末までの利用件数は0件となっている。問い合わせが2件程度あったが、補助要綱に合致しないことから利用には至っていない。	引き続き、市HP等で情報を掲載するとともに、問い合わせがあった内容について、補助対象として対応できるか検討を行う。	次年度以降も、空き店舗補助金を継続し、商工会等とも連携し、利用につなげる。
	4-2. 空き店舗等の活用【事業継承診断の実施】 ○事業継承診断の実施 28件	<b>【当初】</b> H30年度に実施した28件の事業者への継続的な支援（専門家の紹介、支援機関との連携等）を実施するとともに、高知県が推進する「事業継承診断」の取組を進めていく。 <b>【9月末までの取り組み状況】</b> ・事業継承診断の実施件数：17件	事業継承診断を新たに17件実施し、高知県事業継承支援センター等の紹介を行っている。	商工会だけでなく、高知県事業継承支援センター等との連携を強化していく必要があるため、センター訪問等を行い、情報交換を実施し、今後の連携方法等について協議する。また、市広報誌に支援センター等に関して掲載し、情報発信を実施する。	商工会等と連携し事業継承セミナーの開催等を実施し、事業継承に関する知識や当事者意識を持たせる。
	4-3. 空き店舗等の活用【商工会等HPへの空き店舗物件の掲載】 ○商工会等HPへの空き店舗物件掲載数 10件	<b>【当初】</b> 市内不動産業者へ協力要請を図り「空き店舗の情報」を取りまとめ、商工会HPに加え、こうち創業villageや香南市のHPにも空き店舗物件を掲載し、周知の拡大を実施。 <b>【9月末までの取り組み状況】</b> ・3件の空き店舗情報を掲載	市内不動産業者へ空き店舗情報の確認ができていない。	市内不動産事業者を訪問し、所有する物件があれば情報提供いただき、各HPへ情報を掲載する。	市内の空き店舗情報を一元化し、情報発信できるプラットフォームの構築を行う。
	5-1. 創業支援【ワンストップ窓口相談件数】 ○ワンストップ窓口創業に関する相談件数 35件（商工水産課＋商工会）	<b>【当初】</b> 引き続き、商工会や金融機関と連携し、創業支援を希望される方への相談窓口の対応強化を図る。 <b>【9月末までの取り組み状況】</b> ・相談件数：11件	商工会への相談件数は11件となっており、市商工水産課への相談は0件となっている。	相談窓口の周知を図るため、市広報誌等への掲載を行い、市民への周知を図る。また、市内金融機関が実施する創業融資の情報等をまとめ、相談等に活用していく。	金融機関との連携を強化するため、定期的に訪問し意見交換等を実施する。また、相談窓口の周知を継続して実施する。
	5-2. 創業支援【創業支援計画の見直し】 ○創業支援計画の見直しやブラッシュアップを実施	<b>【当初】</b> 令和3年3月31日の創業支援事業計画の認定期間終了を前に、創業者が安心して香南市で起業するための相談体制を整え、創業後も長く事業を続けられるよう事業内容の見直しやブラッシュアップを実施する。 <b>【9月末までの取り組み状況】</b> ・見直しやブラッシュアップができていない	商工会とも連携し、現状・課題分析を行う必要がある。	商工会と連携し、これまでの現状や市内で創業する強みや弱み等をまとめる。	関係機関と連携し、新たな創業支援事業計画の策定に向けた準備を進める。
	6. 商業経営のIT化への取組 ○キャッシュレス化等の整備に取組む事業者への支援の検討	<b>【当初】</b> キャッシュレス化への対応やITツール等を経営に取り入れることで経営の改善を図る事業者への支援を検討。 <b>【9月末までの取り組み状況】</b> ・県主催のキャッシュレスセミナーへの協力（約50名参加）	市内事業者においてキャッシュレス化等に取り組む事業者等の把握ができていないため、ニーズ調査が必要。	他自治体の取り組み等を調べるとともに、キャッシュレス化等に取り組む事業者のニーズ調査を実施する。	ニーズ調査を元に、補助制度等の支援策が必要か等を検討する。
	7. 創業支援利子補給金交付事業 ○利用件数 3件（※100,000円×3件）	<b>【当初】</b> 市内金融機関9か所に周知用チラシを作成し、利用増に繋げていく。 ※周知時期（2回を予定） ・金融機関の人事異動後の4～5月 ・事業申請直前の11月を予定 <b>【9月末までの取り組み状況】</b> ・市HPへの掲載 ・問い合わせ 1件	申請期間は、翌年1/4から1/31までが申請期間となっているため、9月末時点での申請は0件となっている。	市内金融機関に対して、12月上旬までに訪問を行い、制度の周知を行い、利用増につなげる。	引き続き、本制度を活用していただくために、創業者への周知を行い、創業時の負担軽減を図る。



	各年度末目標値 製造品出荷額 (億円)	実績値 (9月末実績)	評価	備考
R元年度 数値目標	500億円以上	億円	—	
H30年度実績	500億円以上	397億円 (注1)	B	
H29年度実績	500億円以上	371億円 (注2)	B	

**【R元4月～9月の取組について】 (P・D・C)**  
 目標値（製造品出荷額等）500億円に対し、平成30年の実績値は未だ公表されていないことから、令和元年9月末現在の評価は示していないが、平成30年5月末日で閉鎖したルネサス高知工場の製造品出荷額を考慮すると、製造品出荷額は大きく減少することが予想される。  
 (※平成30年中の製造品出荷額等の数値は令和2年2月頃に工業統計より公表予定)  
 工業分野の戦略の柱となる「ものづくり基盤整備」については、香南工業団地への立地企業である、みすまる加工（株）が竣工したものの、設備導入の遅れにより雇用体制が整わず、雇用計画に遅れが生じている。丸三産業（株）香南工場については、令和2年1月の本格操業に向けて、工業用水の取水・排水について関係機関と調整し、安定的な工業用水の供給が出来るよう取組を進めており、川谷刈谷工場用地及び旧ルネサス東駐車場用地についても早期分譲となるよう準備を行っている。事務系企業の誘致については、首都圏企業である（株）UT・キャリアの立地が決定し、今後地元への雇用（15人予定）が大きく期待される。また、「ものづくり」については、目標値に達していない取組が多いが、懇談会や合同企業説明会については下半期で開催を予定しており、各種支援事業についても企業訪問や関係機関と連携し、利用件数の増加を図っている。

**【R元10月以降の取組について】 (A)**  
 「ものづくりの基盤整備」については、香南工業団地の1号調整池の浚渫を実施し、適切な維持管理を行うとともに、みすまる加工（株）の雇用体制が整い次第、新規雇用者（地元）の確保の取組を進める。また、丸三産業（株）香南工場を含む川谷刈谷地区については、一体的に企業集積を図ることで雇用創出及び地域経済の活性化に繋がる取組を継続し、事務系企業誘致についても立地企業の雇用支援と、新たな企業誘致に向けて企業訪問や首都圏企業ツアーを開催する。  
 「ものづくり」については、下半期に予定している懇談会や城山高校での合同企業説明会を開催するとともに、各種支援事業の利用件数増加に繋がるよう、関係機関と連携して事業紹介の強化を図っていく。

※ 目標値である「製造品出荷額」は毎年2月に公表されるため、（注1）はH29年度、（注2）はH28年度の製造品出荷額を記載。

戦略の柱	事業名	具体的な取組 【D】	総括 【C】	今後の取組（対策、改善について） 【A】	
	R元年度の目標値 【P】		原因及び課題（分析）	R元年度末（下半期）に向けての取組内容を記載	R2年度（次年度）に向けての取組内容を記載
ものづくりの 基盤整備	◆企業誘致の促進				
	1. 香南工業団地整備事業 ○団地内の周辺整備や適切な維持管理 ・ 1号調整池の浚渫 ・ 法面及び排水路の維持管理	【当初】 ・ 1号調整池測量調査設計委託業務 ・ 1号調整池浚渫工事 ・ 法面の草刈及び排水路の土砂撤去  【9月末までの取組み状況】 ・ 1号調整池測量調査設計委託業務発注（10/18契約） ・ 法面の草刈り発注（10/3作業依頼）	・ 1号調整池浚渫土の仮置き、処分方法を検討する必要がある	・ 1号調整池浚渫土量の確認及び積算 ・ 1号調整池浚渫工事（R02.1発注予定）	・ 施設の適切な維持管理を継続する。 【第1期で終了予定】  ・ 今後は新規の工業団地を整備するべく候補地の選定と適地調査を実施し、新たな企業立地の推進を図る。
	2. 香南工業団地企業立地促進事業 ○立地企業への雇用促進及び産業の活性化を図る ・ みすまる加工（株）の新規雇用者数16名（内地元雇用者半数以上）	【当初】 ・ 会社説明会、面接会の開催 2次募集（R2年9～10月）…10名求人予定 3次募集（R3年3～4月）…6名求人予定 ・ 市HP及び市広報誌への掲載 ・ 香南CATVへのテロップ放送  【9月末までの取組み状況】 ・ みすまる加工竣工会（7/8） ・ 現在の新規雇用者10名（内地元雇用5名）	・ 設備導入に遅れが生じ、2次募集及び3次募集時期は未定	・ 設備導入後、雇用体制が整えば2次募集及び3次募集に向けて企業説明会、面接会を県と共同で開催する。	・ フル操業に必要な雇用支援を行う。 【第1期で終了予定】  ・ 第2期で現行の企業誘致支援制度の見直しを行い、雇用の促進と生産性の向上に繋げる。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	総括【C】	今後の取組（対策、改善について）【A】	
	R元年度の目標値【P】		原因及び課題（分析）	R元年度末（下半期）に向けての取組内容を記載	R2年度（次年度）に向けての取組内容を記載
<b>新</b> ものづくりの 基盤整備	3. 丸三産業(株)香南工場 ○工業用水の安定的な供給 ・操業開始（R元6月予定）に向けて安定的な工業用水の供給について地域や関係団体との調整に努める。	<b>【当初】</b> ・取水及び排水関係団体との調整 ・各地区水源対策委員会の開催 ・香南工業用水対策特別委員会の開催（5/24） ・地下水保全条例の策定検討 ・県、市の工業用水施設統合  <b>【9月末までの取り組み状況】</b> ・香南工業用水対策特別委員会の開催（5/24） ・工場排水に関する覚書の締結（5/30） ・公害防止協定の締結	・R2年1月より本格操業開始を予定しており、日量4,000m <sup>3</sup> の取水予定  ・県、市の工業用水施設統合後は9箇所の水源井より日量11,000m <sup>3</sup> までの取水が可能となる。  ・市の生活用水、農業用水及び工業用水に支障を来さぬよう、地下水保全条例を制定し、地下水の保全を図る必要がある。	・各地区水源対策委員会の開催（随時） ・土居地区との取水協定書及び覚書締結（11月予定） ・高知県との取水協定書締結（12月予定） ・県、市の工業用水施設統合（12/1） ・地下水保全条例の策定（R2年度施行予定）	・引き続き安定的な工業用水の供給と、フル操業に必要な雇用支援を行う。 <b>【第1期で終了予定】</b>  ・第2期で現行の企業誘致支援制度の見直しを行い、雇用の促進と生産性の向上に繋げる。
	4. 川谷刈谷工場用地 ○川谷刈谷工場用地への企業誘致 1社	<b>【当初】</b> ・再公募（H31.1/15～3/8）後の企業選定 ・川谷刈谷工場用地排水管設置工事  <b>【9月末までの取り組み状況】</b> ・川谷刈谷工場用地排水管設置工事完成（9/27）	・現在、外部の有識者を交えた立地企業選定委員会で選定した分譲候補企業が、立地に向け関係機関との調整を進めており、条件が整えば分譲契約を締結予定	・進出協定の締結 ・公害防止協定の締結	・早期操業となるよう、県と連携して支援を行う。 <b>【第1期で終了予定】</b>  ・第2期で現行の企業誘致支援制度の見直しを行い、雇用の促進と生産性の向上に繋げる。
	5. 旧ルネサス東駐車場 ○旧ルネサス東駐車場への企業誘致 1社 ・工場用地として取得し、分譲を行う。	<b>【当初】</b> ・土地鑑定及び用地測量の委託 ・用地買収 ・公募要領の作成→公募  <b>【9月末までの取り組み状況】</b> ・民有地測量終了（5/17） ・民有地の不動産鑑定終了（2者） ・民有地の租税特別措置法手続（10/30）	・公募要領の作成にあたり、工業用水の活用や排水等について関係機関と協議する必要がある。	・土地売買契約（11月予定） ・分譲用地の測量委託（11月～） ・地元や関係機関への説明（随時） ・公募要領の作成（R2年3月予定）	・R2年4月より公募開始予定
	6. 事務系企業の誘致 ○立地企業 2社	<b>【当初】</b> ・空き家、空き店舗の物件調査 ・イシン(株)との連携による首都圏企業訪問 ・首都圏企業ツアーの開催（8月予定）  <b>【9月末までの取り組み状況】</b> ・空き店舗物件調査（2件） ・首都圏企業訪問6社（7/10～12） ・首都圏企業ツアー委託契約（7/29） ・補助金助成対象企業指定1社（10/18） ※地元雇用予定15人	・8月に予定していた首都圏企業ツアーが参加者数が少なかったため、R2年2月に延期となった。 ・交渉を進めていた(株)UT・キャリアと条件が整ったため、補助金助成対象企業指定を行った。	・空き店舗物件調査 ・首都圏企業ツアーの開催（R2年2月予定） ・首都圏企業訪問（R2年1月予定）  <b>【立地企業：(株)UT・キャリア】</b> ・進出協定の締結 ・企業説明会、面接会の開催（雇用予定3人）	・R2年度立地企業（予定1社）の企業誘致に向けて取組を進める。  <b>【立地企業：(株)UT・キャリア】</b> ・企業説明会、面接会の開催（雇用予定2人） <b>【第1期で終了予定】</b>  ・第2期より商業分野での施策に移行

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	総括【C】	今後の取組（対策、改善について）【A】	
	R元年度の目標値【P】		原因及び課題（分析）	R元年度末（下半期）に向けての取組内容を記載	R2年度（次年度）に向けての取組内容を記載
<b>ものづくり</b> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">拡</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">新</span>	◆既存企業の育成・支援				
	1. 香南市香我美町企業立地交流会 ○懇談会の開催 年1回 ・H30年度比で参加者数の増加 (H30実績8企業10名の参加)	<b>【当初】</b> ・企業訪問による事業紹介や現状、課題の把握 ・新規立地企業の入会勧誘(2社) ・香南市ものづくり会との合同開催  <b>【9月末までの取り組み状況】</b> 未実施	・懇談会への参加企業を増やすために、香南市企業交流会として「香我美町立地企業交流会」と「香南市ものづくり会」の合同開催を行い、事業紹介や企業間交流の充実を図る。	・新規立地企業の入会勧誘(2社) ・香南市ものづくり会との合同開催 (R2年1月開催予定)	・香南市企業交流会として「香我美町立地企業交流会」と「香南市ものづくり会」の合同開催を行い、事業紹介や企業間交流の充実を図る。
	2. 香南市ものづくり会 ○懇談会の開催 年1回 ・H30年度比で参加者数の増加 (H30実績8企業10名の参加)	<b>【当初】</b> ・企業訪問による事業紹介や現状、課題の把握 ・香我美町立地企業交流会との合同開催 ・ものづくり職人の香南市表彰への推薦  <b>【9月末までの取り組み状況】</b> 未実施	・懇談会への参加企業を増やすために、香南市企業交流会として「香我美町立地企業交流会」と「香南市ものづくり会」の合同開催を行い、事業紹介や企業間交流の充実を図る。	・香南市表彰制度への推薦募集を行う (申請期間11/1～11/29) ・香我美町企業立地交流会との合同開催 (R2年1月開催予定)	・香南市企業交流会として「香我美町立地企業交流会」と「香南市ものづくり会」の合同開催を行い、事業紹介や企業間交流の充実を図る。
	3. 香南市産業人材育成事業 ○利用件数 5件 ※補助率1/2 上限200千円×5事業所	<b>【当初】</b> ・企業訪問や懇談会での事業紹介 ・市ホームページへの掲載 ・研修機関への事業紹介  <b>【9月末までの取り組み状況】</b> ・市HP掲載、企業訪問による事業紹介 ・補助申請件数2件	・高知職業能力開発短期大学校と連携し、人材育成に係る研修の開催を行うことで2件の事業利用に繋がった。	・企業訪問、懇談会等で周知を行うとともに、引き続き高知職業能力開発短期大学校と連携し、事業利用件数の増加を図る。	・企業訪問、懇談会等による事業紹介 ・市HP掲載及び商工会との連携による周知 ・高知職業能力開発短期大学校との連携
	4. 香南市未来人材育成奨学金返還助成事業 ○利用件数 10件 ※補助率1/2 ※6,428円(自宅通学生の借入平均月額1/2)×12ヶ月×10人	<b>【当初】</b> ・補助金交付要綱の一部を改正し、事業の拡充を図る <b>【改正内容：対象業種を拡充】</b> ・企業訪問や懇談会での事業紹介 ・市ホームページへの掲載  <b>【9月末までの取り組み状況】</b> ・補助金交付要綱の一部改正 (改正内容：対象事業の拡充) ・市HP掲載、企業訪問による事業紹介	・補助金の交付要綱の一部改正し、対象事業の拡充を行ったが、申請に至っていない。	・企業訪問、懇談会等で周知を行うとともに、学校等にも事業紹介を行うことで利用件数の増加を図る。	・今後利用が無い場合は、制度の廃止を検討し、新たに市の移住、定住促進事業として奨学金助成を検討する必要がある。
	5. 合同企業説明会の開催 ○合同企業説明会の開催 2回	<b>【当初】</b> ・市内施設での合同企業説明会の開催 ・城山高校での合同企業説明会の開催  <b>【9月末までの取り組み状況】</b> ・合同企業説明会の開催(8/27) 説明企業9社(内市内企業4社) 参加者数48人(H30実績：40人)	・学生が参加しやすいよう、8月末に合同企業説明会を開催することで、参加者数の増加を図り、昨年度の参加者数を上回ることが出来た。 ・城山高校での合同企業説明会は2年生を対象とし、就職の選択肢の一つとして市内企業を存知してもらおう。	・城山高校での合同企業説明会 (R2年2月12日開催予定) ※1月中旬までに参加企業のとりのまとめ	・引き続き合同企業説明会を開催し、雇用の促進と若者の地元定住を図る。
6. 中小企業者の生産性向上支援事業 ○中小企業者の先端設備導入計画の認定件数 30件	<b>【当初】</b> ・企業訪問による事業紹介 ・商工会会員への事業紹介 ・市ホームページへの掲載  <b>【9月末までの取り組み状況】</b> ・企業訪問、市HP掲載による事業紹介 ・商工会との連携 ・認定件数9件	・先端設備導入計画の受付期間はH30.6.26～R3.3.31までとなっており、期間中積極的な設備投資を推進しているが、企業も一定の投資費用が必要となることから、目標値に届いていない。	・企業訪問や懇談会による周知 ・商工会と連携し、商工会会員への周知	・企業訪問、懇談会等で周知を行うとともに、引き続き商工会と連携して先端設備導入の推進を図る。	



	各年度末目標値 観光施設入込客数 (万人/暦年)	実績値 (9月末実績)	評価	備考
R元年度 数値目標	120万人	77.8万人	—	<p>【根拠数値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年実績9月末まで※暦年</li> <li>対象施設11か所</li> </ul> <p>①のいち動物公園 . . . . . 127,462                  ②月見山こどもの森 . . . . . 17,520                  ③ヤ・シィパーク . . . . . 250,613                  ④絵金蔵 . . . . . 6,699                  ⑤香南市サイクリングターミナル                  (宿泊者以外) . . . . . 1,888                  ⑥天然色市場 . . . . . 0                  ⑦やすらぎ市 . . . . . 157,799                  ⑧あぐりのさと . . . . . 13,535                  ⑨黒潮温泉 . . . . . 83,525                  ⑩アクトランド . . . . . 70,533                  ⑪土佐カントリークラブ . . . . . 50,467</p>
H30年度実績	120万人	106.2万人	B	<p>【根拠数値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実績値は暦年(1月-12月)</li> <li>対象施設11か所</li> </ul> <p>①のいち動物公園 . . . . . 166,504                  ②月見山こどもの森 . . . . . 25,647                  ③ヤ・シィパーク . . . . . 339,679                  ④絵金蔵 . . . . . 10,265                  ⑤香南市サイクリングターミナル                  (宿泊者以外) . . . . . 2,321                  ⑥天然色市場 . . . . . 8,139                  ⑦やすらぎ市 . . . . . 209,067                  ⑧あぐりのさと . . . . . 20,998                  ⑨黒潮温泉 . . . . . 109,436                  ⑩アクトランド . . . . . 100,418                  ⑪土佐カントリークラブ . . . . . 69,704</p>
H29年度実績	120万人	107.7万人	B	<p>【根拠数値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実績値は暦年(1月-12月)</li> <li>対象施設11か所</li> </ul> <p>①のいち動物公園 . . . . . 163,967                  ②月見山こどもの森 . . . . . 25,747                  ③ヤ・シィパーク . . . . . 345,985                  ④絵金蔵 . . . . . 12,851                  ⑤香南市サイクリングターミナル                  (宿泊者以外) . . . . . 1,780                  ⑥天然色市場 . . . . . 40,200                  ⑦やすらぎ市 . . . . . 211,207                  ⑧あぐりのさと . . . . . 19,205                  ⑨黒潮温泉 . . . . . 109,768                  ⑩アクトランド . . . . . 71,771                  ⑪土佐カントリークラブ . . . . . 74,794</p>

**【R元4月～9月の取組について】 (P・D・C)**

数値目標120万人に対し、実績値が77.8万人(達成率64%)であり、前年度比98%となった。(前年度同時期 79.3万人)

個々の取組としては概ね順調であるといえるが、平成30年4月から休業している天然色市場の影響もあり、数値目標や各取り組みのKPIに影響を及ぼしている。

また、悪天候による絵金祭りやマリンスポーツ体験会の一部中止等やPR不足等の要因により一部の施設で客足が伸び悩んでいることが考えられる。

「核となる観光拠点の形成」については、昨年度とほぼ同程度で推移しており、特にヤ・シィパークの入込客数は、YASU海の駅クラブとの連携事業やレンタサイクル事業などイベントによる話題性もあったことから昨年度同月実績を上回った。  
(令和元年度9月末 17.2万人 / 前年度同時期 17.0万人)

「広域観光の推進」においては、概ね順調に取り組むことができている。

塩の道を活用した取組では、塩の道保存会が新たにPR楽曲の作成に着手しており、今後の情報発信の強化に期待できる。

「人材の育成」においては、各所で広報を行ったが、まちの案内人会新規会員獲得には至っていない。

「国際観光の推進」については、高知市と連携した大型客船乗船客向けバスツアーを開催し香南市の魅力を伝え、認知度向上に繋げた。

**【R元10月以降の取組について】 (A)**

下半期に予定しているイベントとの連携を図り、観光施設への入込増を図る。

「核となる観光拠点の形成」については、継続してイベントへの出店に取り組む。

「広域観光の推進」では、上半期で実施できなかった観光施設連絡会を開催し、施設間の連携を強化するとともに、ヤ・シィパークを中心に周辺地域などを周遊できる仕組みづくりに取り組む。

「人材の育成」のまちの案内人会の取組では、継続して高知県観光ガイド連絡協議会HPを活用した広報等を行うとともに、OTAへの登録を検討する。

「国際観光の推進」では、契約業者の選定に遅れが生じている事業への着手とイベント出店によるPRを行う。



戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	総括【C】	今後の取組（対策、改善について）【A】	
	R元年度の目標値【P】		原因及び課題（分析）	R元年度末（下半期）に向けての取組内容を記載	R2年度（次年度）に向けての取組内容を記載
核となる観光拠点の形成	◆観光の振興				
	1. 三宝山観光拠点化事業 ○地元企業による三宝山山頂の再開発計画への支援	【当初】 ・山頂については、運営事業候補者のうちの1者が、一体的な開発を検討していることから、基本構想や基本計画などで議論してきたコンセプトやターゲット等は今後も活かしていきながら、運営事業候補者が三宝山エリア全体の観光拠点化に向けた取り組みに参画していただけるように、事業者間の調整を行う。 ・香南市に加え、物部川地域の他の観光関係事業者との連携・協働に向けた仕組みづくりを高知県と連携しながら関わっていく。  【9月までの取り組み状況】 ・高知県産業振興計画物部川地域アクションプランに掲載されている「地域と連携した高知県産ワインのブランド化の推進」を図るため、高知県と連携し、三宝山の中腹にある風力発電施設跡地の活用をたワイナリーの立ち上げに向けた取組を実施。（下段参照）	-	・引き続き高知県と連携し、三宝山の中腹にある風力発電施設跡地の活用を促し、実現に向け取組を進めていく。	・引き続き高知県と連携し、三宝山の中腹にある風力発電施設跡地の活用を促し、実現に向け取組を進めていく。
	2. 三宝山観光拠点化事業 ○地域と連携した高知県産ワインのブランド化の推進	【当初】 -  【9月までの取り組み状況】 ・高知県と連携し、三宝山の中腹にある風力発電施設跡地の活用をたワイナリーの立ち上げに向けた取組を実施。	-	・同上	・同上
	3. ヤ・シィパーク周辺地域の活性化 ○ヤ・シィパーク入込客数 36.6万人	【当初】 ■グランドデザインを基にした事業着手 ■グランピングテント等を活用したイベントの開催 ・4/27～5/5ヤ・シィファミリーキャンプ（予約制） ■YASU海の駅クラブと連携したマリナクティビティの提供（5～11月にマリナ体験受入 400人） ・マリナスポーツ体験会（4/28, 29） ■レンタサイクル事業  【9月までの取り組み状況】 ○ヤ・シィパーク入込客数 17.2万人（達成率47%）  ・ヤ・シィパーク活性化推進協議会を開催 ・グランドデザインを基にした事業着手（再調整中） ・グランピングテント等を活用したイベントの開催 ・ヤ・シィファミリーキャンプ（4/27～5/5 16名） ・YASU海の駅クラブと連携したマリナクティビティの提供（5～11月にマリナ体験受入 64人） ・マリナスポーツ体験会（4/28のみ実施 23名） ・レンタサイクル事業（4/27～5/5 7名、7/20～9/30 110名）	・グランドデザインを基にした整備についてはその具現化に向けた調査事業を行っており、事業着手には至っていない。  ・イベントを実施し入込増を図ったが、天候やPR不足等の要因もあり参加者が想定を下回った企画があった。実稼働に向けてより興味を持ってもらえるPR方法や仕組み作りが必要であると考え。	・取り組みを完了しているためデータをグランドデザイン再調査に向けてフィードバックする。 ・レンタサイクル事業（11/5～12/27予定）	・ヤ・シィパーク活性化協議会でマリナクティビティやサイクリング事業、物部川流域の旅行商品化に向けた取り組みなど、ソフト面での戦略づくりを行っている。
4. manamanaの取組について ○加工所兼店舗売上高 54,193千円	【当初】 ■カフェ売上の増加 ・ランチメニューの拡充と新商品の開発 ・繁忙期の店頭対応に必要な人材の確保 ・店舗のPR ■外販強化 ・商談会への参加 ・HPを活用した広報の充実 ■生産体制 ・繁忙期に備えたアイスパーの在庫確保（目標ストック30,000本） ・原材料殺菌処理方法の確立 ・HACCP第2ステージ取得による衛生管理意識の向上  【9月までの取り組み状況】 ○加工所兼店舗売上高（8月まで） 16,152千円（達成率29%） ①商品開発 ・期間限定ランチメニューの開発 ・地域おこし協力隊による期間限定カフェメニュー（5/20～5/26） ・高島屋・お歳暮用商品開発 ②外販強化 ・商談会への参加（6/4） ・新規成約13件 ・イベント出店1回（7/15 マリナフェスティバルYASU） ・イベント出品7回（4/28, 5/25, 6/15, 7/7, 8/24, 9/1, 9/7） ③広報 ・各種情報誌への掲載、新聞、メディアによる放送 ・Facebookでの情報発信	・売上高が昨年度同時期実績を下回ったが、概ね同程度で推移している。（昨年度同時期比93%）  ・4月から販売開始の成約が多く、外販の大幅な増加に繋がった。  ・取引先の開拓や新商品の開発、売上増加の戦略づくりに時間を充て、カフェ・外販の繁忙期に対応するため、加工所兼店舗の運営を強化するための人材育成と新規人材確保が課題である。	・イベント出品（ふるさとまつり11/15～11/17）  ・イベント出店（ものがわフェスタ10/22、ヤ・シィの秋まつり11/17、土佐ぶたん祭り3/3）  ・HACCP第2ステージ取得に向けた取り組み	引き続き取組の強化を図る。 ・運営体制強化のためのOJTによる人材育成 ・売上増に向けた店舗の新メニュー開発や外販の強化	

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	総括【C】	今後の取組（対策、改善について）【A】	
	R元年度の目標値【P】		原因及び課題（分析）	R元年度末（下半期）に向けての取組内容を記載	R2年度（次年度）に向けての取組内容を記載
広域観光の推進	◆観光の振興				
	1. 歴史観光の推進 ○115,500人 ・絵金蔵入館者数 10,500人 ・アクトランド入園者数 105,000人	【当初】 ・通年にかけて、様々な企画展、イベントを実施する ・トリップアドバイザー等のSNSを活用した情報発信 ・旅行会社へのセールス活動の実施 ・外国客船のオプションツアー受入  【9月末までの取り組み状況】 ○絵金蔵入館者数 5,014人（達成率47%） ○アクトランド入園者数 47,620人（達成率45%）	・「志国高知 幕末維新博」の閉幕や悪天候により一部中止となった「絵金祭り」の影響で、集客に苦戦している。	・引き続き企画展の開催を行い集客を図るとともに、HPやSNS等による情報発信を行う。  ・冬の夏祭りとのコラボ企画を開催し、イベントを目的に訪れた観光客等を誘導する。	・「志国高知 幕末維新博」がH31.11に閉幕したため第2期産業振興計画では明記しないが、引き続き各施設入込数増加に向けた取組を行う。
	2. 観光施設間の連携 ○香南市観光施設連絡会の開催（年4回） ○市内各地域の観光施設や宿泊施設等の相互交流や活動の活性化を行い、市内への誘客や周遊促進を図る	【当初】 ○観光施設連絡会の開催 ・観光施設の視察・見学等を実施し、施設間の情報共有を行う ・ヤ・シィパークを中心とした観光クラスター形成に向けた協議 ・レンタカー利用者をターゲットとした周遊促進企画の実施  【9月末までの取り組み状況】 ○未実施	・観光施設連絡会についてはスケジュール調整に遅れが生じ未実施となっており、早急に1回目を開催する必要がある。	・11月下旬に第1回目を開催予定。  ・R1年度上半期の入込状況等の情報共有を行うとともに、観光クラスター形成に向けての協議を行う。	・継続して施設間の連携強化に取り組み、市内への誘客や周遊促進を図っていく。
	3. 歌舞伎でまちおこし ○イベント参加者数（延べ）1,200人	【当初】 ・土佐絵金歌舞伎定期公演 ・上方落語会 ・歌舞伎体験等の体験メニュー化に向けた協議 ・クラウドファンディング等を活用した人力車の導入 ・歌舞伎を題材としたワークショップの継続実施  【9月末までの取り組み状況】 ○イベント参加者数（延べ）1,017名 ・土佐絵金歌舞伎定期公演（7/20.7/21 900名） ・上方落語会（7/7開催・参加者 117名） ・歌舞伎体験等の体験メニュー化に向けた協議（5/25～5/26 研修） ・クラウドファンディング等を活用した人力車の導入に向けた協議（5/25～5/26 研修） ・歌舞伎を題材としたワークショップの継続実施（参加者 421名）	・悪天候により絵金祭りが一部中止となったが、その中で土佐絵金歌舞伎定期公演は催行したため普段は弁天座に会場されない客層の方や前泊していた県外の方などに公演を見ていただくことができ、結果的に増加に繋がった。  ・歌舞伎体験等メニュー化や人力車の導入に向けて研修・協議を行ったが、人員不足等の懸念事項により実現に至っていない。	・ワークショップ等を開催し、歌舞伎に触れてもらう機会を創出し、歌舞伎でまちおこしの認知度向上を図る。  ・体験メニュー化・人力車導入の実現に向けて問題点の洗い出しと再調整を、歌舞伎でまちおこし実行委員会等で行う。	・地域の歴史や文化を継承していくための様々なイベントや体験メニューの開発に継続して取り組み、観光客の呼び込みや交流人口の増加を目指す。
	4. 塩の道を活用した取組 ○イベント参加者数（ガイド等含む）650人 トレイルランニングレース参加者 25km：200人 / 60km：100人 30kmうおーく：100人 他（ガイド等）：250人	【当初】 ・トレイルランニングレースの開催（10/6） 25kmコース 60kmコースは開催するか検討中 ・30kmうおーくの開催（3月） ・塩の道ガイドウォークの受け入れ ・OTAへの登録  【9月末までの取り組み状況】 ○トレイルランニングレースエントリー数 25km：271名 / 60km：63名 計 334名 他（ガイド他：ボランティア等）：42名  ・土佐塩の道トレイルランニングレース担当者の実施 ・土佐塩の道の歌動画楽曲PROJECTの準備等の実施	・25kmコースの定員を270名まで増やしたことでエントリー者数が増加。（昨年度エントリー数222名）  しかし、同時期に開催の四万十ウルトラマソン・脱藩トレイルの影響があり、60kmコースの参加者は伸び悩んだ。	・30kmうおーくの開催と広報に取り組む。（3月末開催） ・OTA登録を検討し、少人数向けガイドウォークをPRする。  ・来年度の60kmの参加者の確保に向け、協議を図る。	・土佐塩の道トレイルランニングレースの参加者により香南市に滞在してもらい地域観光や地域消費ができる取り組み（前日イベント・講師を招いての講習会・交流会など）を宿泊を兼ねて実施する。  ・地域との連携を強化し、イベントのさらなる発展を図る。 ・イベントとして今後発展していくための運営のあり方について協議を行う。
5. サイクリング事業 詳細はサイクリング専門委員会の資料に記載	【当初】 詳細はサイクリング専門委員会の資料に記載  【9月末までの取り組み状況】 詳細はサイクリング専門委員会の資料に記載	詳細はサイクリング専門委員会の資料に記載	詳細はサイクリング専門委員会の資料に記載	詳細はサイクリング専門委員会の資料に記載	

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	総括【C】	今後の取組（対策、改善について）【A】	
	R元年度の目標値【P】		原因及び課題（分析）	R元年度末（下半期）に向けての取組内容を記載	R2年度（次年度）に向けての取組内容を記載
広域観光の推進	6. 物部川エリア広域観光連携事業	<p>【当初】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光客動態調査によるデータ分析</li> <li>満足度向上のためのアンケート調査及びフィードバックによる問題点の改善</li> <li>PR動画の作成及びエリア関係者が連携した観光PRの実施</li> <li>ミキハウスエリア認定の継続及び認定を活用した広報等の実施</li> <li>MONOGLAMERの実施</li> <li>ものべがわフェスタの開催</li> <li>3市の観光資源を活用した旅行商品の造成・販売</li> <li>地域イベント・スポーツ大会等での宿泊手配</li> <li>県主催商談会への参加や旅行会社への個別セールスの実施</li> <li>人材育成のための先進地研修等の実施</li> <li>6次化商品開発のためのものべみらいとの協働</li> </ul> <p>【9月末までの取り組み状況】</p> <p>○主要観光施設入込数 354,112人（達成率47%）※8月末</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>物部川DMO協議会解散総会および（一社）物部川DMO協議会定時社員総会（6/7開催）</li> <li>理事会（5/10、5/23、6/7、9/19開催）</li> <li>広報担当者会（4/11、7/25開催）</li> <li>ものべがわフェスタ担当者会（4/18、5/14、6/13、7/11、8/6、9/5、9/19開催）</li> <li>観光客動態調査によるデータ分析</li> <li>満足度向上のためのアンケート調査及びフィードバックによる問題点の改善</li> <li>3市の観光資源を活用した旅行商品の造成・販売</li> <li>PR動画の作成及びエリア関係者が連携した観光PRの実施（撮影、編集）</li> <li>ことりっぶ2万部増刷、レジサンプリング実施</li> <li>高知大学協働学部実習受入（4月以降毎週火曜日）</li> <li>台湾旅行会社宏飛インセンティブ受入（4/17、4/23、5/24、5/30、5/31、6/12）</li> <li>たまたばこツアー～オリジナルビンゴツアー～（5/4、9/19、9/20開催）</li> <li>旅行会社等視察受入（5/11、8/21、8/30）</li> <li>イベント等観光PR（長宗我部フェス5/18、お城祭り7/12～15、9/13～16、海遊館9/7～9/8）</li> <li>県主催商談会への参加や旅行会社への個別セールスの実施（5/16、6/10、6/18、6/19、6/26～27）</li> <li>土佐の観光創生塾参加（6/11、6/12、実践編7/3、9/27、情報発信スキル向上編7/16、9/11、地域づくり7/17、9/10）</li> <li>事業者研修（6/21開催）</li> <li>れんけいこうち主催コスタネロマンチカオプショナルツアーガイド、アテンド（6/26）</li> <li>わくわく号発行（7月、9月発行）</li> <li>山北みかんモニターツアー（7/7開催）</li> <li>バリアフリー実地調査受入（7/2、7/4、9/3、9/17開催）</li> <li>台湾旅行会社ガブリエルツアー受入補助（7/11、8/22）</li> <li>全中ヨット大会運営（7/27、7/28）</li> <li>SAパンフレット広告（8月～）</li> <li>ジェイアール四国バス高速バス座席ネット広告（8月～）</li> <li>インバウンド受入セミナー（9/9開催）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実績値は昨年同時期と比較してやや減少したものの概ね同程度で推移している。</li> <li>旅行会社の視察、アテンドなど積極的に受け入れ対応をし、今後の事業展開に繋げることができた。下半期には旅行業を取得し、本格的に事業展開を行う。また、台湾旅行会社の受入実績もできたことから、年明けに予定されている商談会などを活用し、以降も誘致活動に力を入れていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6次化商品開発のためのものべみらいとの協働について引き続き企画会議を行う。</li> <li>観光客動態調査によるデータ分析、満足度向上のためのアンケート調査及びフィードバックによる問題点の改善を行う。</li> <li>ミキハウスエリア認定の継続及び認定を活用した広報等、MONOGLAMERについては下半期実施予定。</li> <li>旅行業取得を下半期に行い、地域イベント・スポーツ大会等での宿泊手配や旅行商品造成・販売に向けて、積極的に事業展開を行う。</li> <li>人材育成のための先進地研修等については必要に応じて実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マーケティング結果の事業者へのフィードバックや戦略的なプロモーション展開等への活用に取り組む。</li> <li>一過性のイベントに終わらず、持続的・安定的に収益を取ることができる旅行商品づくりに取り組む。</li> <li>エリアの主要産業である一次産業分野と観光分野を掛け合わせた6次化商品の開発やブランド化に取り組む。</li> <li>物部川流域3市の関係者との連携を強化するとともに、マーケティングや戦略策定のノウハウを地域人材に移転させることによる人材育成に取り組む、協議会の体制強化を図る。</li> </ul>
	7. 市民と地域資源の総力を結集したビジネス支援事業	<p>○カタログ売上額 104,200千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カタログ 4,200千円</li> <li>ふるさと納税 100,000千円</li> </ul> <p>【当初】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>通年カタログの改編・配布</li> <li>シーズンチラシ作成・配布</li> <li>こうなん健康チャレンジポイントの継続</li> <li>各種イベント等への出店</li> <li>新たな事業者開拓や期間限定コラボセットの開発</li> <li>れんけいこうち事業等を活用した販路開拓</li> </ul> <p>【9月末までの取り組み状況】</p> <p>○カタログ 2,133千円（334件）（達成率50%）</p> <p>○ふるさと納税 44,486千円（10,686件）（達成率44%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シーズンチラシ作成・配布</li> <li>こうなん健康チャレンジポイントの継続 96件</li> <li>各種イベント等への出店（土佐赤岡どろめまつり/4月28日、高知新港出店/4月29日・5月25日・8月24日、フジ高知いいものうまいもの市/5月14日、高知暮らしフェアin大阪/6月15日、青少年剣道大会/7月7日、高知フェアin海遊館/9月7～8日、ご当地キャラまつりin須崎/9月14～15日）</li> <li>新たな事業者開拓や期間限定コラボセットの開発（実施、枕・スイカ・アウトドア用品・おじゃこ・ショウガなどの業者が増えた。季節商品の販売、フジ物産と司とのコラボ商品のタタキ・どろめなども導入予定。）</li> <li>れんけいこうち事業等を活用した販路開拓（実施/日曜市5月12日、まるごとっぽん「こうちプレミアムフェスタ」出品9月22～23日、とさのさとアグリコレット出品9月20日～継続中）</li> <li>香南市版ふるさと応援寄附金サイトの立ち上げ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種イベントへの出店やチラシなどによる認知度の向上や地場産品の魅力発信により、カタログ事業の売上増加に繋げることができた。</li> <li>こうなん健康チャレンジポイントも昨年度同時期よりは利用が多く、季節商品等のご利用がある。</li> <li>ふるさと納税返礼品においては業者同士の情報共有により新しいコラボ商品が生まれるなどこれまでと違う視点を盛り込んだ商品開発ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規顧客獲得に向けて継続して出店や販路拡大に取り組む。</li> <li>ふるさと納税の繁忙期である年末にかけて、納税者にギフトカタログを同封するなどしてPRを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き香南市の魅力伝えるべく、ギフトカタログやふるさと応援寄附金を通じて幅広い年齢層へのPRを強化していく。</li> </ul>



戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	総括【C】	今後の取組（対策、改善について）【A】	
	R元年度の目標値【P】		原因及び課題（分析）	R元年度末（下半期）に向けての取組内容を記載	R2年度（次年度）に向けての取組内容を記載
広域観光の推進	8. 地域まるごと旅行商品の開発販売及びランドオペレーター機能構築事業	<b>【当初】</b> ・SUNSETシーカヤック ・土佐塩の道トレイルランニングレース ・羽尾暮らし体験モニター ・高知県観光説明会・商談会への参加 ・こじゃんと等地域情報誌での情報発信  <b>【9月末までの取り組み状況】</b> ・新聞バック作り（4/19 141名） ・散歩in香南（OVE青山・TORQUE渋谷ストリーム）（4/30 16名） ・安芸からのサイクリングロード、ヤ・シィパークでの休憩、ボードウォーク散策、見送り。 ・7/25～30全国中学校ヨット選手権大会の宿泊受入・みなこい港祭りへの現地交通等の手配 ・SUNSETシーカヤック（開催候補日を確認） ・土佐塩の道トレイルランニングレース（10/6 334名エントリー）、宿泊施設の案内、スポーツ店との交流実施。 ・羽尾暮らし体験モニター（未実施） ・高知県観光説明会・商談会への参加（参加実績なし） ・こじゃんと等地域情報誌での情報発信（情報誌・広報紙・ラジオ・HP・FB・Instagram・ラインで実施） ・OTAへの登録：登録完了、2商品の販売開始 4/29（2名）、7/27（2名）の受入実施 ・スポーツハブ事業に委員として参加。 ・9/1国内旅行業取扱管理者試験受験	・本年度は担当となる観光協会職員が欠員となっているため未実施の取組があるが、定番になっている新聞バック受入や、土佐塩の道トレイルランニングレースを開催した。  ・HPやSNSの活用による情報発信、OTAの登録などを実施し、広報に努めた。  ・香南市でのスポーツ事業に関連した誘客を検討しており、土佐塩の道トレイルランニングレースでの講師を招き、前日講習会・交流会を実施しようと動くも講師の予定がつかず今年は断念した。	・地域と連携した観光・周遊・飲食・買い物・宿泊の提案をしていく。  ・自然&体験キャンペーンに基づいて、香南市のアクティビティと宿泊、イベントと宿泊などをプラン化に取り組む。  ・HPやSNSでの情報発信、高知県内の主要観光施設にチラシ配布する等、情報発信の強化に取り組む。  ・これまで活用できていない地域の素材を使った体験モニターを開催し、新たな魅力の発信を行い、集客数の拡大を図る。	
	<b>○観光客入込数</b> <b>70万人※暦年</b>  <b>※対象施設一覧</b> ①高知県立のいち動物公園 ②創造広場「アクトランド」 ③高知県立月見山こどもの森 ④絵金蔵 ⑤ヤ・シィパーク ⑥香南市サイクリングターミナル（宿泊以外） ⑦弁天座				
人材の育成	◆おもてなしの向上				
	1. まちの案内人会	<b>【当初】</b> ・他団体との交流による情報共有 ・新規会員獲得に向けた広報活動 ・観光協会・物部川DMO協議会と連携したガイドの実施 ・高知県観光ガイド連絡協議会HPを活用した情報発信の継続  <b>【9月末までの取り組み状況】</b> <b>○会員数 23名（新規会員0人）</b> ・他団体との交流による情報共有 高知県ガイド連絡協議会総会参加（5/17 2名） 高知県ガイド連絡協議会研修会参加（9/13 3名） ・新規会員獲得に向けた広報活動 市内の各研修会などの参加を通して呼びかけ ・観光協会・物部川DMO協議会と連携したガイドの実施（7/30 9名、9/4 30名） ・高知県観光ガイド連絡協議会HPを活用した情報ガイド実施状況を掲載（4/1、8/1、9/6）	・当初の事業は計画通り実施しているが、会員の増加やガイド実施回数に結びついていない。  ・市内の研修会などにおいて新規入会者を募っているが、PR不足により新規会員獲得には至っていない。	・東部研修会において他ガイド団体との情報共有及びガイド研修を行う。  ・観光協会・物部川DMO協議会との一層の連携を図る。  ・継続してHPでの情報発信・県内研修会での呼び掛けを行い、入会者獲得を図る。	・継続して会員数の増加に取り組むとともに、会員の研修会への参加などガイド技術の向上を図っていく。
国際観光の推進	◆外国人観光客の受入体制づくり				
	1-1. 外国人観光客の受入体制づくり	<b>【当初】</b> ・高知新港への継続出店 ・外国人観光客受入研修の継続実施 ・インバウンド向けモデルコース策定 ・市内観光施設外国人観光客入込数把握に向けた仕組みづくり  <b>【9月末までの取り組み状況】</b> <b>○外国人観光客受入研修の実施 0回</b>  ・高知新港への出店 8回（4/29. 5/14. 5/19. 5/25. 6/2. 8/4. 8/24. 9/13） ・れんけいこうち無料バス事業受入（6/25 46名）	・高知新港への出店については、出店を希望される事業所が増えたことにより出店回数が増加した。（昨年度出店回数3回）  ・市内観光施設外国人観光客入込数把握に向けた仕組みづくりについては、調査方法が確立しておらず実現に至っていない。	・受入研修の実施に向けて準備を整えていくとともに、高知新港出店によるPRに取り組む。  ・インバウンド向けモデルコースや外国人入込数の把握の仕組み作りに向けた協議を行い、受入体制作りに取り組む。	・受入研修の実施など受入体制の強化に継続し、て取り組むとともに、ハード面の整備を検討していく。 また、客船オブショナルツアー化に向けて取り組み、外国人観光客の増加を図る。
	1-2. 外国人観光客の受入体制づくり	<b>【当初】</b> ・多言語対応パンフレットの作成及び県内主要施設での配布  <b>【9月末までの取り組み状況】</b> 未実施	・契約業者の選定に遅れが生じ、パンフレットの作成には至っておらず、早急に取り組む。	・11月中に契約業者の選定を行い、年度内の作成に取り組んでいく。 作成後は県内主要施設に配置する。	・引き続き県内主要施設に配置し、外国人観光客誘致のツールとして活用する。



	各年度末目標値 レンタサイクル 利用者(人)	実績値 (9月末実績)	評価	備考
R元年度 数値目標	2,300人	1,254人	—	【レンタサイクル対象施設】3施設 ①サイクリングターミナル、 ②のいち駅 ③創造広場「アクトランド」
H30年度実績	2,100人	2,156人	A	
H29年度実績	1,800人	2,060人	A	

**【R元4月～9月の取組について】(P・D・C)**  
 上半期6カ月間の達成率は54.52%であり、順調である。シーズンである7～8月に雨天が多かったが、サイクリングターミナル所有車を市内外団体のイベント等へ計204台貸し出したことが効果的であった。

**【R元10月以降の取組について】(A)**  
 サイクリングには厳しい冬季を迎えることから、上半期より利用率が下がる傾向にあるので、レンタサイクルを利用するイベントを開催、また市内外イベントへ貸し出し、利用増に努める。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	総括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】	
	R元年度の目標値【P】		原因及び課題(分析)	R元年度末(下半期)に向けての取組内容を記載	R2年度(次年度)に向けての取組内容を記載
自転車を活用した観光への取組	1. 各種イベントの開催 ○イベントの開催 年間参加者数 500人	【当初】 ①自転車教室(5月・11月) ②ポタリング(日程未設定) ③シクロクロス大会(1月) ④シクロング、ヒルクライム等(日程未設定)  【9月末までの取組状況】 ①…開催日雨天のため未実施、③…1月以降開催であるため未実施 ②、④…イベント運営体制と企画、運営方法が未確立のため未実施	②…昨年度観光協会が開催していたが、本年度は担当となる観光部会職員が欠員のため開催予定が組めない状況にあった ④…下記新規サイクリングイベントと同内容のため、対象欄参照	①、③…関係団体等と調整し開催に向けて取り組む ②、④…本年度開催できる見込みなしと判断し、R2年度開催に向けて調整する	観光客誘致につながるため実現可能なものを精査し継続する
	○新規サイクリングイベントの開催 1回開催	・観光客誘致と香南市のPRに繋げるイベントの実施。(三宝山を活用した企画)  【9月末までの取組状況】 イベント運営体制と企画、運営方法が未確立のため未実施	三宝山スカイラインを利用する予定であるが、公道使用となるため、周辺施設等と調整したが、早朝なら可とのことであった。その場合、周辺住民宅に騒音等の迷惑がかかることが想定される	R2年度の日中開催に向けて関係機関と調整し開催に向けて尽力する	他施設等への波及効果も見込んだイベントであるため、開催に向けて取り組む
	2. 香南市のサイクリングに対するPR 2-1 ○中上級者向けのサイクリングコースの設定 新規 2コース	【当初】 ・Maze-Cle等と連携し、中上級者のサイクリストが満足できる山道などを活用したサイクリングコースの設定に向け検討する。(この設定により全8コースとなる)  【9月末までの取組状況】 2コースを設定し、昨年度の6コースと合わせて全8コースとした。新規コースはヤ・シィパーク～岸本で整備中の自転車道を利用するため、実利用はその整備待ち	30年度末の県知事行脚にて新規自転車道整備がMaze-Cleから発意され、本年度において県とスピード感をもって整備調整ができた	年度内に整備完了となることから、その時点から広報誌等で新コースのPRを行う	市内の推奨コースの設定数を満たすことができることから専門委員会の取り組みから外すが、引き続きコースを活用したイベントや観光客誘致を行っていく
	2-2 ○各種イベント等へ出展又は出場し香南市の取組をPRする。 年間参加イベント数 6回	【当初】 ①高知仁淀ブルーライド(5月) ②shimanoロードレース大会(鈴鹿市)に出店予定(8月) ③安芸・室戸パシフィックライド(12月) ④サイクルモードライド大阪に出店予定(1月) ⑤四万十・足摺無限大チャレンジライド(3月) ⑥広島県で開催されるイベントへの出店(県コンベンション協会で調整中)  【9月末までの取組状況】 ①、②に参加し、計画通り進行中	イベントでは市のサイクリングパンフレットや動画等を使用し、対面でPRや問い合わせを受け付け周知をしている。	年度末までに開催される残りのイベントへ参加し、サイクリングパンフレットや動画等を活用し対面でPRを行う	第2期では市内の受け入れ体制づくりにウェイトを置くため専門委員会の取り組みからは外すが、続けて参加し対外的にPRしていく

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	総括【C】	今後の取組（対策、改善について）【A】	
	R元年度の目標値【P】		原因及び課題（分析）	R元年度末（下半期）に向けての取組内容を記載	R2年度（次年度）に向けての取組内容を記載
自転車を活用した観光への取組	2-3 新 ○サイクリングの取組を通じた香南市のPR	<b>【当初】</b> ①香南市の取組を统一的に表すキャッチフレーズを専門委員会で考え、PRの強化に繋げる（5月）その後ロゴも作成する ②サイクリストが携帯できる折りたたみパンフレットを作成（8月） ③動画を活用したPR  <b>【9月末までの取り組み状況】</b> ①. ②…未実施 ③…高知市とさてらす、県外イベント、自転車首長会等で活用	①…第2回専門委員会にて調整 ②…県の自転車道整備が完了し、実走できるようにになったタイミングで作成した方が利活用しやすいことから、R2年度に作成することとした ③…市内外イベントや施設で視聴できるようにしている	①…決定後、広報に掲載するなどし、周知を図る。 ②…作成に向けて調整を図っていく ③…継続して活用する	すべて2年度には完了・完成することから専門委員会の取り組みからは外すが、それぞれを活用し、市のサイクリングイメージアップに繋げる
	3. レンタサイクルの利用者促進 ○レンタサイクル利用者 2,300人	<b>【当初】</b> ①自転車安全利用月間に無料貸出日を設けPRを実施する。 ②小型のタンデム自転車を購入し、子供から大人までタンデム自転車を利用できる環境を整える。 ③レンタサイクルが利用されにくい月の原因調査と底上げの協議を実施。 ④ヤ・シィパークにてレンタサイクルモニターを実施し、ヤ・シィパークでのレンタサイクル事業のスタートの検討を行う。（5月と7月）  <b>【9月末までの取り組み状況】</b> ①…開催日が雨天であったため中止 ②…1台購入、 ③…地域おこし協力隊とサイクリングターミナルで調整中 ④…実施し、110件の利用があった	①. ④については天候に左右されることがある	①…年度末までに再度開催できるか調整する ②…年末までにもう1台購入予定 ③…継続し、利用増に繋げる手を打つ ④…追加で11月～12月に絵金蔵、ヤ・シィパーク、サイクリングターミナルで相互乗り捨てのためのモニターを行う	R2年度に小型タンデム自転車を2台追加する。また、ヤ・シィパークでのレンタサイクル開始や施設間での相互乗り捨て開始に向けて調整し、準備が整ったことから実施する
	4. サイクルオアシスの充実 新 4-1 ○サイクルオアシスの新規設置 5件	<b>【当初】</b> ・観光施設・店舗等への誘客・満足度の向上を目指すために高知県観光コンベンション協会が取組を進める「サイクルオアシス設置事業」を市HPや市広報誌で推進していく。  <b>【9月末までの取り組み状況】</b> 実施したが未整備	PRと売り込み不足 ※2件問い合わせがあったが給水設備があることなどのオアシス整備規程に沿わず設置できていない	お知らせすることだけでなく、市内飲食店等に売り込みに行き設置してもらおう活動を行う	オアシス整備だけでなく、市独自でサイクルラックのみ設置でも可としたサイクリストが立ち寄りやすくなる環境を整える
4-2 ○ブルーライン敷設 3コース	<b>【当初】</b> ・サイクリングコースを利用者が快適に走ることができるようブルーライン(路面標示)を敷設する。 ※ 既存6コースの中から3コースを選定し実施。次年度以降、他コースも継続実施)  <b>【9月末までの取り組み状況】</b> 県推奨のコースは実施、市推奨のコースは未実施	R2年度に策定予定の自転車活用推進計画内において仕様を設定したのちに整備することとした	計画策定時に向けて先進地等の整備状況・方法等を収集しておく	計画策定後にスムーズに敷設できるようにする	
障害者や高齢者等へのスポーツ推進	1. タンデム自転車の利用強化 新 1-1 ○パイロット養成 10人	<b>【当初】</b> ①障害者等が安心してタンデム自転車を利用できる環境を整えるため、タンデム自転車のパイロット講習会を開催し、パイロット養成を実施。 ②障害者等が気軽にサイクリングを楽しむことができるように養成したパイロットを派遣できる「パイロットバンク」の仕組みづくり・運用方法を考える。  <b>【9月末までの取り組み状況】</b> ①…2月に開催予定のため未実施 ②…①の講習会と運動しながら考案すべきとして未実施	②について、障害者スポーツセンターや福祉関係団体等と連携して進めていくことにより、障害者等の実態・希望に沿った取り組み方法を考案・確立すべきであるが、①の講習会が視覚障害者を中心にするかその他障害者を中心にするか決定できていない	①…開催に向けて関係機関と調整する ②…①の開催を通じて考案する。現在、様々なサポートを行うための「香南市人材バンク」が生涯学習課が所管して存在する。これに所属するものにするか、Maze-Cleやサイクリングターミナル等で独自に組織するかを見極めながら左記団体等と協力しながら仕組みづくりを考える	タンデム自転車の利用増にもつながるため継続する

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	総括【C】	今後の取組（対策、改善について）【A】	
	R元年度の目標値【P】		原因及び課題（分析）	R元年度末（下半期）に向けての取組内容を記載	R2年度（次年度）に向けての取組内容を記載
障害者や高齢者等へのスポーツ推進	1-2 ○イベント貸出数 2回	【当初】 ①既存のサイクリングイベント等に、タンデム自転車の紹介、体験を通じて、周知を進める。 ②障害者支援施設や介護施設等へ情報発信し、PRを行う。  【9月末までの取り組み状況】 ①…オーテピアアルミエールフェスタ(80人体験)、 ②…未実施	①…市外のイベントで体験してもらっている ②…1-1記載のパイロットを養成した後にPRすることが身体的安全につながるため	①…継続する ②…訪問施設を設定し実施する	タンデム自転車の利用増にもつながるため継続する
	1-3 ○レンタル回数 50回	【当初】 ①広報誌やホームページ等の媒体を通じ、障害者等でも楽しめることをPRする。 ②障害者支援施設や介護施設等へ情報発信し、PRを行う。  【9月末までの取り組み状況】 ①②とも1-1記載のパイロットを養成した後にPRすることが身体的安全につながるため未実施	上記1-1の原因及び課題と同	①.②とも1-1をクリアした後に実施とする	各媒体へ掲載した後は、サイクリングターミナル発の情報発信とし、専門委員会の取り組みからは外すがタンデム自転車の利用者像にもつながるため継続する
健康増進と環境に配慮した取組	1. 健康ポイントを活用した取組 ○健康サイクリングの開催 4回 (各回 20名)	【当初】 ・健康サイクリングを開催し、健康増進を図る。 5/25、6/22、9/21、10/19を予定。  【9月末までの取り組み状況】 開催日が雨天のため、4回のうち初回のみ実施済	天候に左右される	年度内中に再度開催できるか調整し、可能であれば実施する	市民の健康増進を通じて自転車に対する関心を深めることにより観光サイクリストへの理解を深めることにつなげるため継続する
	2. CO2の排出抑制 ○削減目標の設定を行う。	【当初】 ・地球温暖化対策実行計画の中にあるエコ通勤キャンペーン（仮：R2年度実施予定）へ向け、環境対策課と連携・協議及び整理を進め、削減目標を決定する。  【9月末までの取り組み状況】 延期となったため未実施	エコ通勤キャンペーンがR3実施予定に変更となった	担当課と調整し、実行時に備える	本来、地球温暖化計画内にて設定するものであるため、専門委員会の取り組みからは外すが、継続して取り組む
自転車の安全利用を推進する取組	1. 交通マナーや交通事故等へのリスクに対する備え ○レンタサイクル利用者のヘルメット着用率 100%	【当初】 ・市内レンタサイクル事業者と調整を図り、貸出時に必ずヘルメットの着用をしていただく仕組みづくりの実施。  【9月末までの取り組み状況】 条例改正により10月から実施開始(サイクリングターミナル)	サイクリングターミナルで、これまでヘルメットが別料金でのレンタルであったものをレンタサイクル料に組み込み、自転車を借りるとヘルメットが付いてくるようにした	広報等でPRを行う。また、サイクリングターミナル以外の施設においての仕組みづくりを考案し、実施に向けて協議する	レンタサイクルだけでなく日常の利用者のヘルメット着用率100%を目指し、自転車利用に理解がある取り組みをもった市として認知してもらう
	○事故発生箇所や危険箇所の把握及び啓発危険箇所マップの作製	【当初】 ・香南市内の自転車事故発生箇所を確認し、地図を作成する。 ・自転車をレンタルする方や、市内の学校に配布し、啓発を行うとともに道路改善の指標の一つとする。  【9月末までの取り組み状況】 調査方法未確立だったため①.②とも未実施	調査方法の未確立	警察、交通安全協会、交通安全指導員協議会、学校等に聞き取りながら実施する	完了後、2期で別メニューとして自転車追い越し思いやりステッカーの作成と配布を設定し、続けて交通安全に寄与する
	○安全教室の実施 秋春2回開催	【当初】 ・警察の交通安全運動や交通安全教室等と連携した交通安全教室を開催し、市内小・中学校、一般市民を対象に自転車のマナーや交通ルールの向上を推進する。  【9月末までの取り組み状況】 2月に開催予定のため未実施	学校はカリキュラムが決定しているため、組み込みが難しい	一般募集にて東部自動車学校を借りてタンデム自転車講習会と併せて開催する	自転車交通事故ゼロを目指し、特に新入生や自転車通学開始児童を対象により良い手段を考案しながら継続する



数値目標				
------	--	--	--	--

戦略の柱	事業名	具体的な取組 【D】	総括 【C】	今後の取組（対策、改善について） 【A】	
	R元年度の目標値 【P】		要因及び課題（分析）	R元年度末（下半期） に向けての取組	R2年度（次年度）に向けた 取組内容
<b>拡</b> 住環境の整備	◆住環境の整備				
	1. 住宅リフォーム制度 利用件数 75件 （予算額 15,000千円） ・市内に所有し、住居する個人住宅を対象に、住宅のリフォーム工事を行った場合、その工事費用の20%（上限20万円）を補助。	<b>【当初】</b> ・リフォーム補助金の需要は多く、また、上限20万円を利用していない方より「再度利用できないか」との声も多くあったことから、補助金交付要綱の一部を見直し、上限額に至っていない方は再度当補助金を利用できるように拡充。 ・広報、HPにて推進を図る。  <b>【9月末までの取り組み状況】</b> 9月末現在で98件・14,800千円の申請あり。	10月末現在で15,000千円の補助金交付決定をしている。 施工業者からの問い合わせも年々増加しており、住宅リフォーム補助金の利用状況は良好である。 また、本年度より拡充した2回目申請（2回の補助金合計金額20万円まで）は4件ではあるが、順次利用件数も増加していくと見込まれる。	実績報告の提出を受理し、順次現地確認を実施のうえ、補助金を確定し、滞りなく補助金を支払う。	H27年度から住宅リフォーム補助金制度を開始し、年々申請件数・補助金交付金額の実績額も伸びている。 予算補助金15,000千円の交付決定後も問い合わせ等も多く、市民の生活環境の向上及び地域経済の活性化に貢献していることから、来年度以降も事業を継続する事が望まれる。
市営住宅の整備	◆市営住宅の整備				
	1. 浄化槽等設置工事 浄化槽等設置工事 22件	<b>【当初】</b> ・生活環境の保全、及び公衆衛生の向上に向け、単独処理浄化槽から合併浄化槽への変更と、福祉対応型改修工事として、手すりを新設。  <b>【9月末までの取り組み状況】</b> ・設計業者契約準備	11月1日設計業者契約予定通りの推移。	対象住宅の居住者に事業の内容を説明を行い、年内の工事発注に努める。	令和2年度から目標数値を20件に見直し、対象住宅の居住者と連携を図り、事業を継続していく。 （R2年度以降の対象住宅 126世帯）
住宅の耐震化	◆住宅の耐震化				
	1. 住宅耐震診断事業 ・香南市木造（非木造）住宅耐震診断費補助金 ※木造…診断費用の自己負担3千円 非木造住宅…3万円補助 利用件数 120件	<b>【当初】</b> ・市広報・HPへの掲載。 ・自主防災連絡会での周知。 ・戸別訪問の実施。 ・ふれあい祭りによるブース展示。 ・チラシの配布  <b>【9月末までの取り組み状況】</b> ・市広報・HPへの掲載。 ・自主防災連絡会での周知。 ・チラシの配布	H28年度の熊本地震の影響等もあり近年お問い合わせも多く、目標値に近い実績があったが、時間が経過するとともに申請件数は減少傾向にある。ただし、各地で震災があった後には、問い合わせが多くなる傾向にあることから、震災前の対策として取り組んでいただけるように周知していく必要がある。	戸別訪問の実施やふれあい祭りでチラシの配布・ブースの展示を予定しており、引き続き啓発を行う。	広報誌・HPへの掲載、自主防連絡会で周知、戸別訪問の実施、チラシ配布、ふれあい祭りでブース展示を予定。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	総括【C】	今後の取組（対策、改善について）【A】	
	R元年度の目標値【P】		要因及び課題（分析）	R元年度末（下半期） に向けての取組	R2年度（次年度）に向けた 取組内容
住宅の耐震化	2. 住宅耐震改修費補助事業 ※香南市「住宅耐震診断事業」による耐震診断を受診し、総合評点数が1.0未満と診断された住宅に対して、設計及び改修費用を補助。 （設計1棟あたり上限305千円、 改修1棟あたり上限1,000千円） 利用件数 設計 90件 工事 90件	【当初】 ・市広報・HPへの掲載。 ・自主防災連絡会での周知。 ・戸別訪問の実施。 ・ふれあい祭りによるブース展示。 ・チラシの配布  【9月末までの取り組み状況】  ・市広報・HPへの掲載。 ・自主防災連絡会での周知。 ・チラシの配布	H28年度の熊本地震の影響等もあり近年お問い合わせも多く、目標値に近い実績があったが、時間が経過するとともに申請件数は減少傾向にある。ただし、各地で震災があった後には、問い合わせが多くなる傾向にあることから、震災前の対策として取り組んでいただけるように周知していく必要がある。	戸別訪問の実施やふれあい祭りでチラシの配布・ブースの展示を予定しており、引き続き啓発を行う。	広報誌・HPへの掲載、自主防災連絡会での周知、戸別訪問の実施、チラシ配布、ふれあい祭りでブース展示を予定。
	3. コンクリートブロック塀耐震対策事業 ・香南市ブロック塀等耐震対策事業費補助金 ※避難路等に面している危険性の高いコンクリートブロック塀等を撤去したり、安全なフェンスなどに造り替える経費に対して補助。（上限205千円） 利用件数 30件	【当初】 ・市広報・HPへの掲載。 ・自主防災連絡会での周知。 ・チラシの配布  【9月末までの取り組み状況】  ・市広報・HPへの掲載。 ・自主防災連絡会での周知。 ・チラシの配布	H30.6月に発生した大阪府北部地震の影響で住民の関心が高まり昨年度同様問い合わせは増加している。	香南市広報誌・HP等で引き続き制度の周知・啓発を行う。	広報誌・HPへの掲載、チラシ配布を予定。
空き家対策	◆空き家対策				
	1. 老朽住宅等除却事業 ・香南市老朽住宅等除却事業費補助金 ※避難路等に面している又は延焼等により近隣住宅に影響する場所に存在する著しく老朽化した住宅等の除却に要する経費に対して補助。 （補助率80%、上限1,645千円） 利用件数 40件 （参考 H30目標数値：20件）	【当初】 ・市広報・HPへの掲載。 ・自主防災連絡会での周知。 ・チラシの配布  【9月末までの取り組み状況】  ・市広報・HPへの掲載。 ・自主防災連絡会での周知。 ・チラシの配布	老朽化した空家の増加・制度の認知度の高まりにより、件数は増加している。	香南市HP等で引き続き制度の周知・啓発を行う。	広報誌・HPへの掲載、チラシ配布を予定。
	2. 空き家バンク事業 【登録棟数（延べ）】40棟	【当初】 ・まちづくり協議会や不動産業者等、地域との連携による空き家情報収集や移住相談員による活用可能な空き家調査を継続して行い、空き家の掘り起こしに取組む。  【9月末までの取り組み状況】 制度周知のため、チラシの全戸配布や市広報への情報掲載等を実施。 9月末時点で、登録棟数（延べ）は36棟となっている。	今年度に入ってから登録棟数（9月末現在）は4棟であり、昨年度の同時期と比較すると約半数となっている。市内での制度周知は一定進んでいる（市内不動産業者からの情報提供や、市広報をきっかけにした問い合わせあり）と考えられるが、昨年度開始した空き家調査に今年度は着手できていないことが、課題である。	引き続き、制度の広報に取り組むとともに、活用可能な空き家調査を進めていくことができるように努める（2019.12月以降、着手予定）。	R2年度以降も、空き家バンク登録物件に係る支援策「空き家改修事業費等補助金」と合わせて、制度の周知を図るとともに、地域とも連携しながら空き家の掘り起こしを行うことで、市内空き家の有効活用を通じた、移住希望者への住宅提供が出来るよう取り組んでいく。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	総括【C】	今後の取組（対策、改善について）【A】	
	R元年度の目標値【P】		要因及び課題（分析）	R元年度末（下半期） に向けての取組	R2年度（次年度）に向けた 取組内容
空家対策	<b>3-1. 空き家改修事業費等補助金</b> <b>【空き家改修事業】</b> （空き家改修事業：国県財源措置あり、空き家修繕及び 荷物処分等支援事業：一部県財源措置あり） <b>※市の空き家バンクに登録している、空き家の            所有者または空き家を使用する移住者に対し、            耐震化を必須として、トイレの水洗化等住宅性            能の向上のためのリフォームに要する費用を補            助する。</b> <b>【空き家改修事業件数】 3件</b>	<b>【当初】</b> ・移住者へのスムーズな住宅提供を目的と して、補助金要綱の一部を見直し、賃貸 物件についてはマッチング成立前に補助 金の活用ができるよう制度を拡充。  補助事業完了後は、空き家バンクに一定 期間登録する等の条件を明確に付した空 き家活用住宅としていく。  <b>【9月末までの取り組み状況】</b> 賃貸物件については、契約成立前であっても補助金の活 用ができるよう要綱を改正。 9月末時点で4件申請（3件完了）あり。※H30繰越含む	9月末時点で、4件の申請（1件は事業完 了）あり。※H30繰越含む 移住希望者に対して、よりスムーズな住 宅提供ができるよう、賃貸物件について は、契約成立前であっても補助金活用が できるよう制度を拡充したことで、申請 に結びつきやすくなり、件数も昨年度同 時期と比較し増加している。	「空き家バンク制度」と合わせて、拡 充した内容も含めた本事業の広報を継 続して行い、移住希望者に対してス ムーズな住宅提供ができるよう努めて いく。	R2年度以降も「空き家バンク」制度 と合わせて、制度の周知を図っていく ことで、移住者や移住希望者に対 してよりスムーズな住宅提供ができるよう 取り組んでいく。
	<b>3-2. 空き家改修事業費等補助金</b> （空き家修繕等支援事業： 一部県財源措置あり） <b>【空き家修繕事業】</b> <b>※市の空き家バンクに登録している、空き家の            所有者または空き家を使用する移住者に対し、            有耐震性を前提に空き家の軽微な修繕費（200            千円以下で居住に際し支障となる箇所            の取替、朽ちた畳の交換、網戸の設置等）            を補助する。</b> <b>空き家修繕事業 2件</b>	<b>【当初】</b> ・3-1を参照。  <b>【9月末までの取り組み状況】</b> 賃貸物件については、契約成立前であっても補助金の活 用ができるよう要綱を改正。 9月末時点で、申請なし。	3-1と同様に、賃貸物件については、契約 成立前であっても補助金活用ができるよ う制度を拡充したが、空き家バンクに登 録されている物件の状態を考慮すると、 軽微な修繕ではなく、全面的な改修を要 するケースがほとんどであるため、活用 に至っていない。	3-1と同様に、「空き家バンク制度」と 合わせて、事業の広報を継続して行 い、移住希望者に対してスムーズな住 宅提供ができるよう努めていく。ま た、本事業の財源となっている県補助 金では、既に居住をしている物件につ いても補助対象となっているため（居 住年数等の要件あり）、下半期の申請 状況等も考慮しながら、来年度に向 けた制度の拡充も検討していく。	3-1と同様に、R2年度以降も「空き家バ ンク」制度」と合わせて、制度の周知 を図っていくことで、移住者や移住希 望者に対してよりスムーズな住宅提供 ができるよう取り組んでいく。また、 左記の通り、下半期の実績も考慮した 上で、制度の拡充も検討。